

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	一般教養 I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	一般科目 必修
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定3級に合格する
教科書	問題集・プリント・模擬試験
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 訓読み・送り仮名 2 熟語 3 異字同訓・同音異義 4 誤字訂正 5 類義語 6 対義語 7 漢字の意味・使い方 8 項目別模擬試験① 9 項目別模擬試験② 10 項目別模擬試験③ 11 直前模擬試験① 12 直前模擬試験② 13 直前模擬試験③ 14 直前模擬試験④ 15 直前模擬試験⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	コミュニケーション概論	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	一般科目 必修	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	自己分析、自己PRの作成を通じての対人コミュニケーション能力を身に着ける	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	自己分析、自己PRの完成及び発表	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自己PRの見直し
	2	自己分析の方法・注意点
	3	自己分析①
	4	自己分析②
	5	自己分析③
	6	自己PRの作り方
	7	自己PRの作成①
	8	自己PRの作成②
	9	自己PRの作成③
	10	自己PRの作成④
	11	自己PRの作成⑤
	12	自己PRの修正①
	13	自己PRの修正②
	14	自己PR発表①(効果測定)
	15	自己PR発表②(効果測定)
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインI
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	一般科目 必修
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	面接時の入退室及び自己PRができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 面接の基本 2 入退室の仕方 3 スーツの着こなし、身嗜み確認 4 自己PR作成① 5 自己PR作成② 6 自己PR作成③ 7 面接質問項目① 8 面接質問項目② 9 面接質問項目③ 10 業界研究① 11 業界研究② 12 模擬面接練習① 13 模擬面接練習② 14 面接効果測定① 15 面接効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	エアロビクス I
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目 必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	エアロビクスの特性・効果を理解し、エアロビクスを構成する各種運動・動作を習得する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	各種テキストのエアロビクスの範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト実践編
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 エアロビックダンスの歴史、特性と効果 2 有酸素性運動の基礎知識 3 エアロビックダンス実践①（ローインパクトのエアロビックダンス体験） 4 エアロビックダンス実践②（ロー・ハイインパクトのエアロビックダンス体験） 5 エアロビックダンス実践③（8ビートの理解） 6 エアロビックダンス実践④（各ステップの特徴と注意点） 7 エアロビックダンス実践⑤（各ステップの特徴と注意点） 8 前期中間考査 9 エアロビックダンス実践⑥（正しい姿勢と見本） 10 エアロビックダンス実践⑦（正しい姿勢と見本） 11 エアロビックダンス実践⑧（正しい姿勢と見本） 12 エアロビックダンス実践⑨（運動強度） 13 エアロビックダンス実践⑩（運動強度） 14 前期期末考査対策 15 前期期末考査 16 エアロビックダンス実践⑪（ドリル：上肢） 17 エアロビックダンス実践⑫（ドリル：上肢） 18 エアロビックダンス実践⑬（ドリル：全身） 19 エアロビックダンス実践⑭（ドリル：全身） 20 エアロビックダンス実践⑮（カウントに合わせたステップ、正しい動き） 21 エアロビックダンス実践⑯（カウントに合わせたステップ、正しい動き） 22 エアロビックダンス実践⑰（カウントに合わせたステップ、正しい動き） 23 後期中間考査 24 エアロビックダンス実践⑱（安全で効果的な楽しいレッスン） 25 エアロビックダンス実践⑲（安全で効果的な楽しいレッスン） 26 エアロビックダンス実践⑳（プログラミング） 27 エアロビックダンス実践㉑（プログラミング） 28 後期期末考査対策 29 後期期末考査 30 テスト解説
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	水中運動 I
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目 必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60 時間
授業コマ数	30 コマ
授業概要	水の特性を理解し、水中運動を構成する各種運動・動作を習得する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキストの水泳・水中運動範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 水泳や水中運動の効果・特性、心拍数と運動強度、安全管理 2 水泳実践①（浮身・ストリームラインの取り方、安全対策） 3 水泳実践②（4 泳法の基本的動作の習得） 4 水泳実践③（4 泳法の基本的動作の習得） 5 水泳実践④（4 泳法の基本的動作の習得） 6 水泳実践⑤（4 泳法の基本的動作の習得） 7 水泳実践⑥（4 泳法の基本的動作の習得） 8 前期中間考査 9 水泳実践⑧（4 泳法の基本的動作の習得） 10 水泳実践⑨（4 泳法の基本的動作の習得） 11 水泳実践⑩（4 泳法の基本的動作の習得） 12 水泳実践⑪（4 泳法の指導法） 13 水泳実践⑫（4 泳法の指導法） 14 前期期末考査対策 15 前期期末考査 16 アクアエクササイズの基本の動き、アクアエクササイズの歴史と特性・効果 17 水中運動実践①（水中ウォーキングの種類と基本動作） 18 水中運動実践②（水中ウォーキングの運動強度） 19 水中運動実践③（水中ウォーキングの脚・手の動き） 20 水中運動実践④（水中ウォーキングのプログラミング） 21 水中運動実践⑤（水中ウォーキングのプログラミング） 22 水中運動実践⑥（水中ウォーキングの指導法） 23 後期中間考査 24 水中運動実践⑧（水中ウォーキングの指導法） 25 水中運動実践⑨（水中ウォーキングの指導法） 26 水中運動実践⑩（水中ウォーキングの指導法） 27 水中運動実践⑪（水中ウォーキングの指導法） 28 後期期末考査対策 29 後期期末考査 30 テスト解説
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	スポーツキャリアデザイン I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	1 年次	
開講学期	前期	
科目区分	専門科目 必修	
授業方法	講義	
授業時間	30 時間	
授業コマ数	15 コマ	
授業概要	就職活動の筆記試験対策として一般常識問題の対策と傾向を知る	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	就職模擬試験で全国平均点以上を目標にする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	筆記試験対策 (一般常識：国語) ①
	2	筆記試験対策 (一般常識：国語) ②
	3	筆記試験対策 (一般常識：国語) ③
	4	筆記試験対策 (一般常識：国語) ④
	5	筆記試験対策 (一般常識：国語) ⑤ (効果測定)
	6	筆記試験対策 (一般常識：数学) ①
	7	筆記試験対策 (一般常識：数学) ②
	8	筆記試験対策 (一般常識：数学) ③
	9	筆記試験対策 (一般常識：数学) ④
	10	筆記試験対策 (一般常識：数学) ⑤ (効果測定)
	11	筆記試験対策 (一般常識：英語) ①
	12	筆記試験対策 (一般常識：英語) ②
	13	筆記試験対策 (一般常識：英語) ③ (効果測定)
	14	筆記試験対策 (一般常識：社会) ①
	15	筆記試験対策 (一般常識：社会) ② (効果測定)
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 筆記で効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	スポーツキャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 必修	
授業方法	講義・演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	就職活動の筆記試験対策としてSPI試験の傾向を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	マイナビWeb模擬試験で全国平均点以上を目標にする	
教科書	マイナビテキスト（言語・非言語）	
特記		
授業計画	1	筆記試験対策（SPI：言語）①
	2	筆記試験対策（SPI：言語）②
	3	筆記試験対策（SPI：言語）③
	4	筆記試験対策（SPI：言語）④
	5	筆記試験対策（SPI：言語）⑤（効果測定）
	6	筆記試験対策（SPI：非言語）①
	7	筆記試験対策（SPI：非言語）②
	8	筆記試験対策（SPI：非言語）③
	9	筆記試験対策（SPI：非言語）④
	10	筆記試験対策（SPI：非言語）⑤
	11	筆記試験対策（SPI：非言語）⑥
	12	筆記試験対策（SPI：非言語）⑦
	13	筆記試験対策（SPI：非言語）⑧
	14	筆記試験対策（SPI：非言語）⑨
	15	筆記試験対策（SPI：非言語）⑩（効果測定）
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 筆記で効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	スポーツキャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 必修	
授業方法	講義・演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	本番を想定した面接練習を行い、対応力を学ぶ	
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う	
達成目標	様々な面接で対応できる技術を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	集団面接の基本
	2	集団面接練習①
	3	集団面接練習②
	4	集団面接練習③ (効果測定)
	5	集団討論の基本
	6	集団討論練習①
	7	集団討論練習②
	8	集団討論練習③ (効果測定)
	9	個人面接の基本
	10	個人面接練習①
	11	個人面接練習②
	12	個人面接練習③ (効果測定)
	13	書類送付方法
	14	ビジネス電話
	15	ビジネスメール
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	スポーツ栄養学
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目 必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	身体活動・運動に対する各栄養素の役割及び活動中のエネルギー代謝を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要な栄養学範囲の知識を身につける
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(理論編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 五大栄養素の役割① 2 五大栄養素の役割② 3 五大栄養素の役割③ 4 五大栄養素の役割④ 5 食物の消化・吸収、食物選択のためのガイド 6 中間考査対策① 7 中間考査① 8 身体組成とエネルギー代謝① 9 身体組成とエネルギー代謝② 10 スポーツ栄養マネジメント 11 種目特性の分類と食事 12 トレーニングスケジュールと食事 13 グリコーゲン補給と回復のための食事、水分補給① 14 グリコーゲン補給と回復のための食事、水分補給② 15 期末考査① 16 栄養・食事計画の立案 17 目的別の食事管理 18 栄養サポートと栄養教育の実践 19 運動時におけるエネルギー源、エネルギー消費量の推定法 20 適切な減量計画 21 中間考査対策② 22 中間考査② 23 健康日本21における具体的な目標 24 日本人の食事摂取基準 25 食事バランスガイド 26 食事バランスガイドを活用した食事指導 27 食育について① 28 食育について② 29 期末考査② 30 解説、サプリメントの摂取方法
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50～100題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	解剖学 I
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1 年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目 必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60 時間
授業コマ数	30 コマ
授業概要	運動器の骨、筋、靭帯、関節の機能を理解させる
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	整形外科的範囲内の機能解剖学の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(理論編)、ボディナビゲーション
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 機能解剖 上肢の骨① 2 機能解剖 上肢の骨② 3 機能解剖 上肢の関節① 4 機能解剖 上肢の関節② 5 機能解剖 上肢の筋肉① 6 機能解剖 上肢の筋肉② 7 前期中間考査対策 8 前期中間考査 9 機能解剖 脊柱の基本構造 10 機能解剖 脊柱と胸郭の骨① 11 機能解剖 脊柱と胸郭の骨② 12 機能解剖 脊柱と胸郭の関節① 13 機能解剖 脊柱と胸郭の関節② 14 前期期末考査対策 15 前期期末考査 16 機能解剖 関節の運動を表わす用語 17 機能解剖 下肢の骨① 18 機能解剖 下肢の骨② 19 機能解剖 下肢の関節① 20 機能解剖 下肢の関節② 21 機能解剖 下肢の関節③ 22 後期中間考査対策 23 後期中間考査 24 機能解剖 下肢の筋肉① 25 機能解剖 下肢の筋肉② 26 機能解剖 下肢の筋肉③ 27 機能解剖 下肢の筋肉④ 28 機能解剖 下肢の筋肉⑤ 29 後期期末考査対策 30 後期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50～100題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	救急処置
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目 必修
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	運動実施中に発生しうる救急疾病や外科的損傷の病態を理解し、対応、予防ができる
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要な救急処置範囲の知識を身につける
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(理論編)、ボディナビゲーション
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 救急処置法① 2 救急処置法② 3 救急処置法③ 4 テーピング総論 5 テーピング実習 足関節① 6 テーピング実習 足関節② 7 テーピング実習 足関節③ 8 テーピング実習 足関節④ 9 前期中間考査(筆記) 10 前期中間考査(実技) 11 テーピング実習 膝関節① 12 テーピング実習 膝関節② 13 テーピング実習 膝関節③ 14 テーピング実習 膝関節④ 15 テーピング実習 膝関節⑤ 16 テーピング実習 下腿① 17 テーピング実習 下腿② 18 前期期末考査(実技) 19 マッサージ実習 下肢① 20 マッサージ実習 下肢② 21 マッサージ実習 下肢③ 22 マッサージ実習 下肢④ 23 後期中間考査(実技) 24 マッサージ実習 上肢① 25 マッサージ実習 上肢② 26 マッサージ実習 上肢③ 27 マッサージ実習 上肢④ 28 マッサージ実習 上肢⑤ 29 マッサージ実習 全身 30 後期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践 I
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目 必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	様々なトレーニング方法を学び、実技実演を行う
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要なトレーニング学範囲の知識を身につける
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(実践編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康づくりとレジスタンスエクササイズ、レジスタンス運動の分類 2 トレーニング実践 アイソトニックトレーニングの実際① 3 トレーニング実践 アイソトニックトレーニングの実際② 4 トレーニング実践 アイソメトリックトレーニングの実際 5 トレーニング実践 サーキットトレーニング 6 トレーニング実践 筋力トレーニングの効果 7 トレーニング実践 筋力トレーニングのプログラムの条件設定① 8 トレーニング実践 筋力トレーニングのプログラムの条件設定② 9 前期中間考査 10 トレーニング実践 筋力トレーニングの実際① 11 トレーニング実践 筋力トレーニングの実際② 12 トレーニング実践 筋力トレーニングの実際③ 13 トレーニング実践 筋力トレーニングの実際④ 14 前期期末考査 15 トレーニング実践 パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成① 16 トレーニング実践 パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成② 17 トレーニング実践 パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成③ 18 トレーニング実践 パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成④ 19 トレーニング実践 パワー向上トレーニングの実際① パワークリーン 20 トレーニング実践 パワー向上トレーニングの実際② ダンベルパワークリーン 21 トレーニング実践 パワー向上トレーニングの実際③ スナッチ 22 トレーニング実践 パワー向上トレーニングの実際④ ジャーク、SQジャンプ 23 後期中間考査 24 トレーニング実践 パワー向上トレーニングの実際 プライオメトリクス① 25 トレーニング実践 パワー向上トレーニングの実際 プライオメトリクス② 26 トレーニング実践 パワー向上トレーニングの実際 プライオメトリクス③ 27 トレーニング実践 パワー向上トレーニングの実際 プライオメトリクス④ 28 トレーニング実践 パワー向上トレーニングの実際 プライオメトリクス⑤ 29 後期期末考査 30 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	運動生理学 I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	1 年次	
開講学期	通年	
科目区分	専門科目 必修	
授業方法	講義	
授業時間	60 時間	
授業コマ数	30 コマ	
授業概要	運動の発現の仕組み、発現に対しての筋の役割、呼吸循環系を理解させる	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキストの運動生理学範囲の内容を理解させる	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト	
特記		
授業計画	1	運動の発現
	2	骨格筋収縮の仕組みとエネルギー供給機構
	3	骨格筋収縮の仕組みとエネルギー供給機構
	4	筋線維タイプと収縮特性、運動と筋線維タイプ
	5	筋収縮の様式と筋力、トレーニングと骨格筋
	6	前期中間考査対策
	7	前期中間考査
	8	運動の持続と呼吸循環系
	9	運動の持続と呼吸循環系
	10	呼吸循環系の機能の指標と調節機構
	11	運動に伴う呼吸循環機能の変化
	12	運動時の酸素利用
	13	運動時の酸素利用
	14	前期期末考査対策
	15	前期期末考査
	16	トレーニングによる呼吸循環系の適応
	17	運動と血液・体液
	18	成長期における体力・基本的動作スキルの発達
	19	成人以降の加齢に伴う体力・運動能力の低下、体力に及ぼす先天的要因と後天的要因
	20	後期中間考査対策
	21	後期中間考査
	22	テスト解説・スポーツ業界の近況
	23	呼吸循環系の基礎的情報
	24	呼吸循環系の基礎的情報
	25	運動と呼吸循環系
	26	運動と呼吸循環系
	27	トレーニングと呼吸循環系
	28	後期期末考査対策
	29	後期期末考査
	30	テスト解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50～100題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	スポーツ心理学 I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 必修
授業方法	講義
授業時間	3 0 時間
授業コマ数	1 5 コマ
授業概要	運動実践が心身に与える影響、個別指導における動機づけとカウンセリングの方法を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキストの運動指導の心理学的基礎の範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 運動実践にかかわる社会・心理・環境的要因 2 運動実践によって得られる心理社会的効果の内容とその効果を高める要因 3 運動を採択、継続、および停止を予防するために適用されている行動への理論・モデル・及び技法 4 運動を採択、継続、および停止を予防するために適用されている行動への理論・モデル・及び技法 5 募集に際して要因を明確にし、多くの参加者を得るための留意点 6 前期中間考査対策 7 前期中間考査 8 指導と受講のミスマッチと解決方法 9 個別指導における動機づけとカウンセリングの方法 10 個別指導における動機づけとカウンセリングの方法 11 一般人の健康増進への活用1. 2 12 一般人の健康増進への活用3. 4 13 一般人の健康増進への活用5. 6. 7 14 前期期末考査対策 15 前期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50～100題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	発育発達論
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目 必修
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	体力と発育・発達と老化の関係について理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要な発育発達範囲の知識を身につける
教科書	子どもの発育・発達と健康、トレーニング指導者テキスト（理論編）
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 イントロダクション 2 発育発達研究の基礎 3 出産と新生児 4 乳幼児の運動能力の発達① 5 乳幼児の運動能力の発達② 6 幼児の運動能力① 7 前期中間考査 8 幼児の運動能力② 9 体力の構造と測定① 10 体力の構造と測定② 11 形態の発育① 12 形態の発育② 13 前期内容まとめ 14 前期期末考査 15 機能の発達① 16 機能の発達② 17 機能の発達③ 18 運動能力構造の変化① 19 運動能力構造の変化② 20 身体発達に影響する要因と問題 21 後期中間試験 22 生活習慣病 23 現代の健康問題① 24 現代の健康問題② 25 老化① 26 老化② 27 後期内容まとめ 28 後期期末考査 29 運動指導の科学① 30 運動指導の科学②
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50～100題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	スポーツ社会学
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目 必修
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	社会生活とスポーツの結びつきについての学びを深める
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	スポーツ社会学の範囲の内容を理解させる
教科書	生涯スポーツ実践論
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 数字で見る日本のスポーツ 2 生涯スポーツ社会を目指して① 3 生涯スポーツ社会を目指して② 4 生涯スポーツとヘルスプロモーション 5 地域社会と生涯スポーツイベント 6 生涯スポーツ指導者とボランティア 7 前期中間考査 8 生涯スポーツ指導者とボランティア 9 高齢者のスポーツ参加 10 障がい者のスポーツ参加 11 生涯スポーツとニュースポーツ 12 スポーツクラブの現状と課題 13 スポーツクラブの運営 14 まとめ 15 前期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50～100題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	グループエクササイズ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目 必修
授業方法	講義(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	フィットネスインストラクターとして必要な基礎知識について理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	JAF A-GFI共通筆記試験範囲の知識を身につける
教科書	フィットネス基礎理論、グループエクササイズ指導理論
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 イントロダクション 2 フィットネス概論 3 運動器の基礎解剖学① 4 運動器の基礎解剖学② 5 運動器の基礎解剖学③ 6 運動生理学① 7 運動生理学② 8 運動生理学③ 9 前期中間考査対策 10 前期中間考査 11 体力学・トレーニング科学・運動処方① 12 体力学・トレーニング科学・運動処方② 13 体力学・トレーニング科学・運動処方③ 14 運動と栄養・体重管理① 15 運動と栄養・体重管理② 16 心と心理 17 運動と安全管理、事故・傷害の予防 18 前期期末考査対策 19 前期期末考査 20 グループエクササイズ① 21 グループエクササイズ② 22 グループエクササイズ③ 23 後期中間考査対策 24 後期中間考査 25 対策問題演習① 26 対策問題演習② 27 対策問題演習③ 28 後期期末考査 29 対策問題演習④ 30 対策問題演習⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50～100題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	レジスタンスエクササイズ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目 必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	自重トレーニングのグループレッスンに必要な知識、実技スキルを身につける
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	レジスタンスエクササイズインストラクターの資格試験の合格レベルまで到達させる
教科書	レジスタンスエクササイズ指導理論
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 骨格筋の機能解剖学(座学) 2 レジスタンスエクササイズの基本の動き(筆記) 3 レジスタンスエクササイズの基本の動き①(実技) 4 レジスタンスエクササイズの基本の動き②(実技) 5 レジスタンスエクササイズの基本の動き③(実技) 6 前期中間考査対策 7 前期中間考査 8 骨格筋の解剖生理学(筆記) 9 レジスタンスエクササイズの基礎知識①(筆記) 10 レジスタンスエクササイズの基礎知識②(筆記) 11 レジスタンスエクササイズのインストラクション①(実技) 12 レジスタンスエクササイズのインストラクション②(実技) 13 レジスタンスエクササイズのインストラクション③(実技) 14 レジスタンスエクササイズのインストラクション④(実技) 15 前期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ストレッチングエクササイズ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	ストレッチングのグループレッスンに必要な知識、実技スキルを身につける	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	ストレッチングエクササイズインストラクターの資格試験の合格レベルまで到達させる	
教科書	ストレッチングエクササイズ指導理論	
特記		
授業計画	1	ストレッチング①
	2	ストレッチング②
	3	ストレッチングエクササイズの基本の動き(筆記)
	4	ストレッチングエクササイズの基本の動き①(実技)
	5	ストレッチングエクササイズの基本の動き②(実技)
	6	前期中間考査対策
	7	前期中間考査
	8	骨格筋の解剖生理学(筆記)
	9	ストレッチングエクササイズの基礎知識①(筆記)
	10	ストレッチングエクササイズの基礎知識②(筆記)
	11	ストレッチングエクササイズのインストラクション①(実技)
	12	ストレッチングエクササイズのインストラクション②(実技)
	13	ストレッチングエクササイズのインストラクション③(実技)
	14	ストレッチングエクササイズのインストラクション④(実技)
	15	前期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ダイビング実習
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目 必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	テキストでダイビングの基礎的知識を理解し、実習に知識の実践と習得を図る
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	マリンスポーツ分野における実技を習得し、スポーツに関する見識を広める
教科書	オープンウォーターダイバーマニュアル
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ダイバーに必要な基礎知識1（水圧と空気の体積の影響） 2 ダイバーに必要な基礎知識2（水中でのものの見え方・音の聞こえ方） 3 ダイバーに必要な基礎知識3（ダイビングの環境） 4 ダイバーに必要な基礎知識4（ダイビングと健康管理） 5 トラブルの管理 6 器材について1（選び方と手入れ） 7 器材について2（ウェット/ドライスーツ・水面シグナル器材） 8 基礎知識と器材についての復習 9 ダイバーとしてのスキル1（スクーパキットのセッティング） 10 ダイバーとしてのスキル2（マスククリア・マスク脱着） 11 ダイバーとしてのスキル3（中性浮力） 12 ダイバーとしてのスキル4（潜降と浮上・ハンドシグナル） 13 ダイバーとしてのスキル5（緊急時の対処法） 14 ダイブコンピューターとテーブルの使い方 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	キャンプ実習
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目 必修
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	野外活動を通し、その技術を習得すると共に、地域社会への貢献についての理解を深める
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	キャンプ指導者に必要な知識と技術を理解・習得させる
教科書	キャンプ指導者入門
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 キャンプの特性1（キャンプの意義と目的） 2 キャンプの特性2（キャンプのルールとマナー） 3 キャンプの特性3（キャンプと環境教育） 4 キャンプの対象1（人間の心身の理解） 5 キャンプの対象2（自然環境の理解） 6 キャンプの指導1（キャンプインストラクターの資質と役割） 7 キャンプの指導2（指導者のためのコミュニケーションスキル） 8 キャンプの安全についての危険予知とその対処 9 上記内容に関する確認考査 10 キャンプの基本装備（個人装備と団体装備） 11 キャンプに必要な生活技術1（テント設営） 12 キャンプに必要な生活技術2（アウトドアクッキング） 13 キャンプに必要な生活技術3（ロープワーク） 14 キャンプで行う4つのアクティビティ 15 上記内容に関する考査
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	スキー基礎技術論	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	スキーの基礎技術の習得に向け反復練習を行う	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	ウィンタースポーツ分野における実技を習得し、スポーツに関する見識を広める	
教科書		
特記	実務経験者による実習	
授業計画	1	スキーの現状
	2	器具の選び方、セッティングと着用方法
	3	基本姿勢（ボーゲン）と開脚歩行
	4	停止と安全な転び方
	5	スキーにおける身体の使い方
	6	プルークボーゲンでの滑走（基礎）
	7	プルークボーゲンでの滑走（応用）
	8	ターン基礎1（緩斜面でのパラレルターン）
	9	ターン基礎2（緩斜面でのシュテムターン）
	10	ターン応用1（中斜面でのパラレルターン）
	11	ターン応用2（中斜面でのシュテムターン）
	12	ターン応用3（中急斜面でのパラレルターン）
	13	スキーヤーとしてのルールとマナー
	14	実技試験
	15	実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	スノーボード基礎技術論	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	1年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 必修	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	スノーボードの基礎技術の習得に向け反復練習を行う	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	ウィンタースポーツ分野における実技を習得し、スポーツに関する見識を広める	
教科書		
特記	実務経験者による実習	
授業計画	1	スノーボードの現状
	2	セッティングと着用方法、スタンスの確認
	3	基本姿勢
	4	体重のかけ方
	5	安全な転び方
	6	スケーティング
	7	スケーティングでの方向転換
	8	ターンにおける身体の使い方（上半身・下半身）
	9	ターン基礎1（緩斜面での停止・連続ターン）
	10	ターン基礎2（緩斜面でのロングターン・ミドルターン）
	11	ターン応用1（中斜面でのショートターン・カービングターンロング）
	12	ターン応用2（中斜面でのカービングターンショート・ベーシックカーブロング）
	13	スノーボーダーにおけるルールとマナー
	14	実技試験
	15	実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	フィットネスマネジメント	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	1年次	
開講学期	前期	
科目区分	専門科目 選択C	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	フィットネスクラブ業界に必要な知識と技術を習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	フィットネスマネジメントクラブ・マネジメント技能検定3級合格を目指す	
教科書	フィットネスクラブマネジメント公式テキスト	
特記		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 フィットネス産業①(現状・歴史) 2 フィットネス産業②(特徴) 3 健康づくり①(健康施策の概要と動向、生活習慣病とその予防) 4 健康づくり②(栄養・運動・休養) 5 運動・トレーニングの基礎①(運動生理学の基礎、トレーニングの基礎) 6 店舗運営①(フロント業務、事務運営業務、スタジオ運営業務) 7 店舗運営②(プール運営業務イベントの企画・運営、付帯事業、クラブ内での緊急対応) 8 後期中間考査 9 顧客マネジメント①(顧客対応と接客の心構え、見学者対応) 10 顧客マネジメント②(顧客対応と課題解決) 11 チームワークとコミュニケーション①(組織と業務分担の考え方、仕事の進め方) 12 チームワークとコミュニケーション②(コミュニケーションの重要性) 13 施設・設備管理の意義と重要性①(総合クラブの施設内容、管理の概念と基本) 14 安全衛生①(職場の安全衛生) 15 後期期末考査 	<p>JATI JATI JATI JATI JATI JATI JATI JATI JATI JATI JATI JATI JATI JATI JATI</p>
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50～100題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践 I
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目 選択C
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	様々なトレーニング方法を学び、実技実演を行う
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要なトレーニング学範囲の知識を身につける
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(実践編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康づくりとレジスタンスエクササイズ、レジスタンス運動の分類 2 トレーニング実践 アイソトニックトレーニングの実際① 3 トレーニング実践 アイソトニックトレーニングの実際② 4 トレーニング実践 アイソメトリックトレーニングの実際 5 トレーニング実践 サーキットトレーニング 6 トレーニング実践 筋力トレーニングの効果 7 トレーニング実践 筋力トレーニングのプログラムの条件設定① 8 トレーニング実践 筋力トレーニングのプログラムの条件設定② 9 前期中間考査 10 トレーニング実践 筋力トレーニングの実際① 11 トレーニング実践 筋力トレーニングの実際② 12 トレーニング実践 筋力トレーニングの実際③ 13 トレーニング実践 筋力トレーニングの実際④ 14 前期期末考査 15 トレーニング実践 パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成① 16 トレーニング実践 パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成② 17 トレーニング実践 パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成③ 18 トレーニング実践 パワー向上トレーニング理論とプログラムの作成④ 19 トレーニング実践 パワー向上トレーニングの実際① パワークリーン 20 トレーニング実践 パワー向上トレーニングの実際② ダンベルパワークリーン 21 トレーニング実践 パワー向上トレーニングの実際③ スナッチ 22 トレーニング実践 パワー向上トレーニングの実際④ ジャーク、SQジャンプ 23 後期中間考査 24 トレーニング実践 パワー向上トレーニングの実際 プライオメトリクス① 25 トレーニング実践 パワー向上トレーニングの実際 プライオメトリクス② 26 トレーニング実践 パワー向上トレーニングの実際 プライオメトリクス③ 27 トレーニング実践 パワー向上トレーニングの実際 プライオメトリクス④ 28 トレーニング実践 パワー向上トレーニングの実際 プライオメトリクス⑤ 29 後期期末考査 30 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	トレーニング理論
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目 選択C
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	トレーニング機器の特性や機能を理解し、トレーニングプログラムの知識を身につける
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	目的に応じたトレーニングメニューの作成を行えるようにする
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 有酸素性運動① プログラミング 2 有酸素性運動② プログラムの進行 3 有酸素性運動③ 機器を用いない有酸素性運動の指導上の留意点 4 有酸素性運動④ 有酸素性運動の選択と指導上の留意点 5 レジスタンス運動① 安全性と効果 6 レジスタンス運動② 負荷設定法、負荷強度、反復回数 7 レジスタンス運動③ レジスタンス運動の種類 8 まとめ 9 前期中間考査 10 ケーススタディによるプログラム作成① 11 ケーススタディによるプログラム作成② 12 ケーススタディによるプログラム作成③ 13 ケーススタディによるプログラム作成④ 14 ケーススタディによるプログラム作成⑤ 15 前期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50～100題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目 選択C
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	運動指導者に必要なトレーニング方法と筋力の土台づくりを行うことができる
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキスト記載のトレーニング方法の技術の習得を行う
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス（レジスタンス運動の分類、アイソメトリックトレーニングの実際） 2 フリーウエイトトレーニング実践① 3 フリーウエイトトレーニング実践② 4 フリーウエイトトレーニング実践③ 5 アイソメトリックトレーニング実践① 6 アイソメトリックトレーニング実践② 7 まとめ 8 後期中間考査 9 自重や身近な用具を使ったトレーニング実践① 10 自重や身近な用具を使ったトレーニング実践② 11 サーキットトレーニング実践 12 レジスタンストレーニングプログラミングの基礎と実践① 13 レジスタンストレーニングプログラミングの基礎と実践② 14 まとめ 15 後期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅲ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択C
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	パーソナルトレーニングを行う運動指導者に必要なトレーニングスキル・テクニックを習得する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	トレーニング指導に必要なスキル(ペアストレッチ、トレーニング補助法)を身につける
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス（マンツーマン指導とグループ指導の違いについて） 2 パーソナルトレーニングの補助テクニック① 3 パーソナルトレーニングの補助テクニック② 4 パーソナルトレーニングの補助テクニック③ 5 パーソナルストレッチ基礎① 6 パーソナルストレッチ基礎② 7 まとめ 8 後期中間考査 9 自体重トレーニングの補助法・負荷法① 10 自体重トレーニングの補助法・負荷法② 11 ウォームアップとクールダウン 12 パーソナルトレーニングのプログラミング基礎 13 パーソナルトレーニングのプログラミング応用 14 まとめ 15 後期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅳ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択C
授業方法	実習(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	運動指導者に必要なトレーニングルームの管理、運営、指導方法を実践を通じて学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキスト記載のトレーニング方法の技術の習得を行う
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス(トレーニングルームの特徴、マシン指導法、補助法) 2 フリーウエイトトレーニング指導・補助法① 3 フリーウエイトトレーニング指導・補助法② 4 フリーウエイトトレーニング指導・補助法③ 5 アイソメトリックトレーニング指導・補助法① 6 アイソメトリックトレーニング指導・補助法② 7 まとめ 8 後期中間考査 9 自重や身近な用具を使ったトレーニング指導・補助法① 10 自重や身近な用具を使ったトレーニング指導・補助法② 11 サーキットトレーニング指導・補助法 12 レジスタンストレーニングのプログラミング指導① 13 レジスタンストレーニングのプログラミング指導② 14 まとめ 15 後期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	リハビリテーション I
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択 C
授業方法	実習 (実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	評価方法と評価法を活用したリハビリプログラムの作成方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	基本的なアスリハプログラムの理解、作成を行えるようにする
教科書	トレーニング指導者テキスト(実践編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 アスレティックリハビリテーション概論 2 アスリハにおける評価の流れ① ROM検査 3 アスリハにおける評価の流れ② MMT 4 アスリハにおける評価の流れ③ 整形外科的テスト 5 アスリハにおける評価の流れ④ 触診 上肢 6 アスリハにおける評価の流れ⑤ 触診 下肢 7 アスリハにおける評価の流れ⑥ 触診 脊柱と体幹 8 後期中間考査 9 アスリハのプログラム作成の実際① 治癒過程、物理療法、徒手療法の理解 10 アスリハのプログラム作成の実際② 関節可動域訓練 11 アスリハのプログラム作成の実際③ 筋力強化訓練1 12 アスリハのプログラム作成の実際④ 筋力強化訓練2 13 アスリハのプログラム作成の実際⑤ 全身持久力、敏捷性、バランス訓練 14 アスリハのプログラム作成の実際⑥ 時期による段階的なアスリハ、1日の流れ 15 前期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	フィットネス実践 I
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1 年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択 C
授業方法	実習 (実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30 時間
授業コマ数	15 コマ
授業概要	グルーブレッスンに必要な知識、実技スキルの活用方法を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	基礎から応用まで幅広いグルーブレッスンの運動指導ができるようになる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス (グルーブレッスンの種類、特徴、基本構成) 2 レッスンプログラミング基礎① ウォームアップとクールダウン 3 レッスンプログラミング基礎② 筋コンディショニング 4 レッスンプログラミング基礎③ その他ツール使用方法 5 レッスンプログラミング基礎④ カウントとキューイング 6 レッスンプログラミング基礎⑤ モデルレッスン作成 7 レッスンプログラミング基礎⑥ モデルレッスン実践 8 後期中間考査 9 特殊な対象への運動指導時の留意点① 10 特殊な対象への運動指導時の留意点② 11 エクササイズ実践① 12 エクササイズ実践② 13 エクササイズ実践③ 14 エクササイズ実践④ 15 後期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	フィットネス実践Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目 選択C
授業方法	実習(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	ダンスの基礎、応用技能を身につける
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	ダンス大会に出場できる技能を身につける
教科書	
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 ガイダンス(ダンスジャンルの紹介、デモレッスン) 2 基本エクササイズ、テクニックレクチャー① 3 基本エクササイズ、テクニックレクチャー② 4 基本エクササイズ、テクニックレクチャー③ 5 基本エクササイズ、テクニックレクチャー④ 6 基本エクササイズ、テクニックレクチャー⑤ 7 基本エクササイズ、テクニックレクチャー⑥ 8 前期期末考査 9 ダンスフェスティバルチーム練習① 10 ダンスフェスティバルチーム練習② 11 ダンスフェスティバルチーム練習③ 12 ダンスフェスティバルチーム練習④ 13 ダンスフェスティバルチーム練習⑤ 14 ダンスフェスティバルチーム練習⑥ 15 後期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	幼児体育指導者理論 I
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目 選択C
授業方法	講義 (実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	子どもの運動指導に必要とされる発育発達論、幼児体育論、指導プログラムを理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	適切な幼児体育指導の基礎的知識を習得させる
教科書	幼児体育指導者検定公式テキスト 2・3級
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 幼児の発達の様相1 (発達の一般的傾向) 2 幼児の発達の様相2 (幼児期における身体的発達の意義) 3 幼児期における「利き手」の発達 4 幼児における動機づけと目標 5 学習の最適期について(レディネス) 6 学習の最適期について(臨界期) 7 運動(技能)学習の過程1 (学習曲線) 8 運動(技能)学習の過程2 (潜在的学習期) 9 運動(技能)学習の過程3 (学習の初期) 10 運動(技能)学習の過程4 (高原期と飛躍期) 11 運動(技能)学習の過程5 (完成期) 12 学習方法について (全習法) 13 学習方法について (分習法) 14 教育の6原則 15 上記内容の確認考査
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	幼児体育指導者実践
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	1年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択C
授業方法	実習(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	運動あそびの面白さや素晴らしさ、体を動かすことの楽しさを伝えられる指導方法を理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	実習をもとに、適切な幼児指導の実践的な基礎を身に付けさせる
教科書	幼児体育指導者検定公式テキスト 2・3級
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 実技講習の意義 2 リズム体操1(やさい体操) 3 リズム体操2(やさい体操) 4 マット運動1(前転・後転) 5 マット運動2(前転・後転の補助) 6 マット運動3(ブリッジ実演と補助) 7 ゲームあそび 8 跳び箱(開脚跳び) 9 跳び箱(開脚跳びの横補助・後ろ補助) 10 なわとび(前とび・拍子とび) 11 なわとび(なわの指導法・結び方) 12 ボールを使った指導法 13 基本運動1(低い姿勢の運動・立位の運動) 14 基本運動2(バランス・体支持の運動) 15 実技試験
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	一般教養Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	一般科目 選択A
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識を学ぶ
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定2級合格を目標とする
教科書	問題集、プリント、模擬試験
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 訓読み・送り仮名 2 熟語 3 異字同訓・同音異義 4 誤字訂正 5 類義語 6 反対語 7 漢字の意味・使い方 8 項目別模擬試験① 9 項目別模擬試験② 10 項目別模擬試験③ 11 直前模擬試験① 12 直前模擬試験② 13 直前模擬試験③ 14 直前模擬試験④ 15 直前模擬試験⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション実践
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	一般科目 選択A
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 グループディスカッションとは 2 グループディスカッションの役割 3 抽象テーマ型グループディスカッション① 4 抽象テーマ型グループディスカッション② 5 抽象テーマ型グループディスカッション③ 6 課題解決型グループディスカッション① 7 課題解決型グループディスカッション② 8 課題解決型グループディスカッション③ 9 資料読み取り型グループディスカッション① 10 資料読み取り型グループディスカッション② 11 資料読み取り型グループディスカッション③ 12 フェルミ推定 13 KJ法 14 その他特殊型① 15 その他特殊型②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	一般科目 選択A
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	面接試験に向けての準備作業や集団・個人での実践練習を行う
授業の進め方	前半は座学中心になるが、後半は本番形式の模擬面接を実施する
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる
教科書	なし
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 エントリーシート・面接カード作成① 2 エントリーシート・面接カード作成② 3 エントリーシート・面接カード作成③ 4 エントリーシート・面接カード作成④ 5 エントリーシート・面接カード作成⑤ 6 職種研究① 7 職種研究② 8 企業研究① 9 企業研究② 10 模擬面接練習① 11 模擬面接練習② 12 面接効果測定① 13 面接効果測定② 14 面接効果測定③ 15 面接効果測定④
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する	
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定1級に合格する	
教科書	問題集・プリント・模擬試験	
特記		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 訓読み・送り仮名・熟語 2 同音異義・異字同訓 3 誤字訂正・類義語・反対語 4 漢字の意味・使い方 5 ことわざ・故事成語・慣用句① 6 ことわざ・故事成語・慣用句② 7 特殊な漢字の読み書き 8 項目別模擬試験① 9 項目別模擬試験② 10 効果測定 11 直前模擬試験① 12 直前模擬試験② 13 直前模擬試験③ 14 直前模擬試験④ 15 直前模擬試験⑤ 	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ビジネス教養 I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択B
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う
授業の進め方	テキストによる電卓基本操作の講義と問題演習
達成目標	電卓技能検定3級に合格する
教科書	検定対策テキストおよび問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 電卓の基礎知識 2 キー操作練習 3 加減算練習 4 見取算練習 5 乗除算練習 6 伝票算練習 7 電卓総合演習① 8 電卓総合演習② 9 電卓総合演習③ 10 電卓総合演習④ 11 電卓総合演習⑤ 12 電卓総合演習⑥ 13 電卓総合演習⑦ 14 電卓総合演習⑧ 15 電卓総合演習⑨
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における模擬問題の合格認定級で評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)	
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	
授業の進め方	初回レクチャー講義および問題集による問題演習	
達成目標	電卓技能検定1級または2級に合格する	
教科書	検定対策問題集	
特記		
授業計画	1	小数点以下の取り扱い諸注意
	2	電卓実践演習①
	3	電卓実践演習②
	4	電卓実践演習③
	5	電卓実践演習④
	6	電卓実践演習⑤
	7	電卓実践演習⑥
	8	電卓実践演習⑦
	9	電卓実践演習⑧
	10	電卓実践演習⑨
	11	電卓実践演習⑩
	12	電卓実践演習⑪
	13	電卓実践演習⑫
	14	電卓実践演習⑬
	15	電卓実践演習⑭
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 演習授業内における模擬問題の合格認定級で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)	
授業概要	面接試験に向けての準備作業や集団・個人での実践練習を行う	
授業の進め方	前半は座学中心になるが、後半は本番形式の模擬面接を実施する	
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	エントリーシート・面接カード作成①
	2	エントリーシート・面接カード作成②
	3	エントリーシート・面接カード作成③
	4	エントリーシート・面接カード作成④
	5	エントリーシート・面接カード作成⑤
	6	職種研究①
	7	職種研究②
	8	職種研究③
	9	職種研究④
	10	面接効果測定準備
	11	上級面接効果測定
	12	模擬面接準備
	13	模擬面接①
	14	模擬面接②
	15	模擬面接③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60時間(2単位)	
授業コマ数	30コマ(1コマ120分)	
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1~3	学校と職場の違い
	4~6	職場のマナー
	7~9	仕事の進め方
	10~12	報告、連絡、相談
	13~15	挨拶
	16~18	笑顔、お辞儀
	19~21	敬語
	22~24	対応の基本
	25~27	電話対応
	28~30	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	スポーツ医学 I
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目 選択D
授業方法	講義(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	急性・慢性傷害の概要とその予防方法について理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	スポーツ医学(主に整形外科的傷害)の範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(理論編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 運動中止の判定 2 内科的な急性障害、慢性障害 3 救急処置① 4 救急処置② 5 整形外科的傷害と外科的救急処置 6 前期中間考査 7 スポーツ傷害とは 8 足部・足関節の傷害 9 下腿部の傷害 10 膝関節の傷害 11 大腿部の傷害 12 腰部の傷害 13 肩関節の傷害 14 肘関節・手関節の傷害 15 前期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50~100題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	健康管理概論
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目 選択D
授業方法	講義(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	健康と健康づくりの概念と歴史、わが国の疾病状況および高齢化の現状を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキストの健康づくり施策概論の範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(理論編)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康と健康増進の概念、わが国の現状と健康づくり施策① 2 わが国の現状と健康づくり施策② 3 生活習慣病とメタボリックシンドローム、介護予防について 4 メディカルチェック 5 前期中間考査対策 6 前期中間考査 7 体力の概念① 8 体力の概念② 9 体力の要素と体力モデル① 10 体力の要素と体力モデル② 11 体力の個人特性、一般的体力と専門的体力、体力トレーニング 12 前期期末考査対策 13 前期期末考査 14 問題演習① 15 問題演習②
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50~100題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	運動処方
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目 選択D
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	対象の違いによる諸条件を考慮した安全にかつ効果的な運動プログラムを立案できる
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキスト、JATIテキストの運動処方の範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(実践編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 メディカルチェックについて 2 健康の維持増進のための身体活動基準2013、健康づくりのためのトレーニングの原則 3 健康づくりのための運動プログラムの作成上のポイント、健康づくりと運動プログラム作成の基礎 4 ウォーミングアップとクーリングダウン、有酸素運動とその効果 5 レジスタンス運動 6 前期中間考査 7 トレーニング計画の立案① 8 トレーニング計画の立案② 9 トレーニング計画の立案③ 10 筋力トレーニングのプログラム作成① 11 筋力トレーニングのプログラム作成② 12 筋力トレーニングのプログラム作成③ 13 筋力トレーニングのプログラム作成④ 14 筋力トレーニングのプログラム作成⑤ 15 前期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50~100題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	健康運動実践指導者理論 I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択D
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	健康運動指導者検定試験に向けて、テキストの内容を理解した上で各章の問題演習を行う
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	健康運動実践指導者検定試験に向けた問題形式の理解を深める
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康づくり施策概論① 2 健康づくり施策概論② 3 健康づくり施策概論③ 4 運動生理学① 5 運動生理学② 6 機能解剖とバイオメカニクス① 7 機能解剖とバイオメカニクス② 8 前期中間考査 9 栄養摂取と運動① 10 栄養摂取と運動② 11 体力測定と評価① 12 体力測定と評価② 13 健康づくりと運動プログラム① 14 健康づくりと運動プログラム② 15 前期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50～100題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	スポーツキャリアデザインⅣ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 選択E	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	内定後に必要となる知識や技術の習得を図る	
授業の進め方	各種資料による講義と演習により、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	就職した際に必要となる資格や知識を学習し、希望する分野への就職を目標とする	
教科書	配布プリント	
特記		
授業計画	1	スポーツキャリア学習①
	2	スポーツキャリア学習②
	3	スポーツキャリア学習③
	4	スポーツキャリア学習④
	5	スポーツキャリア学習⑤
	6	スポーツキャリア学習⑥
	7	スポーツキャリア学習⑦
	8	スポーツキャリア学習⑧
	9	スポーツキャリア学習⑨
	10	スポーツキャリア学習⑩
	11	スポーツキャリア学習⑪
	12	スポーツキャリア学習⑫
	13	スポーツキャリア学習⑬
	14	スポーツキャリア学習⑭
	15	スポーツキャリア学習⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	スポーツキャリアデザインV	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 選択E	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	就職した際に必要となる知識や技術の習得を図る	
授業の進め方	各種資料による講義と演習により、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	就職した際に必要となる資格や知識を学習し、希望する分野への就職を目標とする	
教科書	配布プリント	
特記		
授業計画	1	スポーツキャリア演習①
	2	スポーツキャリア演習②
	3	スポーツキャリア演習③
	4	スポーツキャリア演習④
	5	スポーツキャリア演習⑤
	6	スポーツキャリア演習⑥
	7	スポーツキャリア演習⑦
	8	スポーツキャリア演習⑧
	9	スポーツキャリア演習⑨
	10	スポーツキャリア演習⑩
	11	スポーツキャリア演習⑪
	12	スポーツキャリア演習⑫
	13	スポーツキャリア演習⑬
	14	スポーツキャリア演習⑭
	15	スポーツキャリア演習⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	バイオメカニクス
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目 選択E
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	力学的視点から運動の仕組みを理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	健康運動実践指導者、JATIの試験に必要なバイオメカニクス範囲の知識を身につける
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(理論編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 身体運動に関係する筋と骨① 2 身体運動に関係する筋と骨② 3 単関節・多関節運動 4 筋腱複合体の弾性要素と弾性エネルギーが利用できる運動様式① 5 筋腱複合体の弾性要素と弾性エネルギーが利用できる運動様式② 6 前期中間考査対策 7 前期中間考査 8 着地衝撃とその緩和法 9 投動作と打動作の共通点 10 運動と流体力① 11 運動と流体力② 12 前期期末考査対策 13 前期期末考査 14 バイオメカニクスの基礎理論① 15 バイオメカニクスの基礎理論② 16 バイオメカニクスの基礎理論③ 17 バイオメカニクスの基礎理論④ 18 バイオメカニクスの基礎理論⑤ 19 後期中間考査対策 20 後期中間考査 21 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス① 22 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス② 23 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス③ 24 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス④ 25 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス⑤ 26 スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス⑥ 27 後期期末考査対策 28 後期期末考査 29 JATI対策検定 30 JATI対策検定
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50～100題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	スポーツ医学Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択E
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	急性・慢性傷害の概要とその予防方法について理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	スポーツ医学（主に内科、生活習慣病）の範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(理論編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 生活習慣病予防と身体活動・運動 2 肥満① 3 肥満② 4 糖尿病① 5 糖尿病② 6 前期中間考査対策 7 前期中間考査 8 脂質異常症① 9 脂質異常症② 10 高血圧症① 11 高血圧症② 12 まとめ 13 後期中間考査対策 14 後期中間考査 15 問題演習
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50～100題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	測定評価
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択E
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	各体力構成要素の具体的な測定方法ならびに体力テストの実践と評価について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキストの運動指導の測定評価の範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(実践編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 無酸素能力の測定、有酸素能力の測定 2 最大酸素摂取量の測定、無酸素性閾値 3 体脂肪量の測定 4 新体力テスト① 5 新体力テスト② 6 新体力テスト③ 7 健康づくりのための運動指針2006、体力テストの評価 8 前期中間考査 9 トレーニング効果の測定と評価の実際① 10 トレーニング効果の測定と評価の実際② 11 トレーニング効果の測定と評価の実際③ 12 測定データの活用とフィードバック準備① 13 測定データの活用とフィードバック準備② 14 測定データの活用とフィードバック準備③ 15 前期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50～100題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	スポーツ心理学Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択E
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	アスリートを対象とした身体活動・運動実践が心身に与える影響について理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	JATIテキストの運動指導の心理学的基礎の範囲の内容を理解させる
教科書	トレーニング指導者テキスト(理論編)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 運動と心理に関する基礎理論① 2 運動と心理に関する基礎理論② 3 運動と心理に関する基礎理論③ 4 スポーツ選手の競技力向上への活用① 5 スポーツ選手の競技力向上への活用② 6 スポーツ選手の競技力向上への活用③ 7 前期中間考査対策 8 前期中間考査 9 問題演習① 10 問題演習② 11 問題演習③ 12 問題演習④ 13 問題演習⑤ 14 前期期末考査対策 15 前期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50～100題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践V
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目 選択E
授業方法	実習(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	現場に必要なトレーニングの知識の習得及びプログラムの立案、作成を行う
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	JATIの試験に必要なトレーニング学範囲の知識を身につける
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(実践編)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ウォームアップとクールダウン① 2 ウォームアップとクールダウン② 3 トレーニング実践 柔軟性向上トレーニング及びウォームアップとクールダウンの理論とプログラム① 4 トレーニング実践 柔軟性向上トレーニング及びウォームアップとクールダウンの理論とプログラム② 5 トレーニング実践 柔軟性向上トレーニング及びウォームアップとクールダウンの理論とプログラム③ 6 トレーニング実践 柔軟性向上トレーニング及びウォームアップの実際① 7 トレーニング実践 柔軟性向上トレーニング及びウォームアップの実際② 8 前期中間考査 9 トレーニング実践 トレーニング計画の立案① 10 トレーニング実践 トレーニング計画の立案② 11 トレーニング実践 トレーニング計画の立案③ 12 トレーニング実践 特別な対象のためのトレーニングプログラム① 13 トレーニング実践 特別な対象のためのトレーニングプログラム② 14 トレーニング実践 特別な対象のためのトレーニングプログラム③ 15 前期期末考査 16 トレーニング実践 スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成① 17 トレーニング実践 スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成② 18 トレーニング実践 スピード向上トレーニングの理論とプログラム作成③ 19 トレーニング実践 スピード向上トレーニングの実際① 20 トレーニング実践 スピード向上トレーニングの実際② 21 トレーニング実践 スピード向上トレーニングの実際③ 22 後期中間考査 23 トレーニング実践 トレーニングの運営① 24 トレーニング実践 トレーニングの運営② 25 トレーニング実践 トレーニングの運営③ 26 トレーニング実践 運動指導のための情報収集と活用① 27 トレーニング実践 運動指導のための情報収集と活用② 28 トレーニング実践 運動指導のための情報収集と活用③ 29 後期期末考査 30 まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ジョグ&ウォーク
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目 選択E
授業方法	実習(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	エンデュランストレーニングプログラムの立案、及び作成を行う
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	ウォーキングとジョギングの範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(実践編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ウォーキングとジョギング、ウォーキングとジョギングの特性 2 ウォーキングとジョギングによる運動効果、時間と頻度 3 ウォーキングとジョギングのエネルギー消費量 4 ウォーキングとジョギングの基本的なフォーム、安全上の注意点 5 ウォーキングとジョギングによる障害とその予防法 6 ウォーキングとジョギングのプログラム 7 前期中間考査 8 持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成① 9 持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成② 10 持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成③ 11 持久力向上トレーニングの理論とプログラム作成④ 12 持久力向上トレーニングの実際① 13 持久力向上トレーニングの実際② 14 持久力向上トレーニングの実際③ 15 前期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50~100題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	陸上運動	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 選択E	
授業方法	実習(実務経験のある教員による授業科目です)	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	エアロビクス・レジスタンスの特性・効果を理解し、指導法を習得する	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキストのエアロビクス・レジスタンスの範囲の内容を理解させる	
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト	
特記	実務経験者による実習	
授業計画	1	エアロビックダンス・レジスタンスの課題動作
	2	エアロビックダンス実践①(課題動作、フォーム確認)
	3	エアロビックダンス実践②(観察・修正・指導の循環)
	4	エアロビックダンス実践③(反復練習)
	5	レジスタンス実践④(課題動作、フォーム確認)
	6	レジスタンス実践⑤(観察・修正・指導の循環)
	7	レジスタンス実践⑥(反復練習)
	8	中間考査
	9	エアロビックダンス・レジスタンス実践⑦(指導練習)
	10	エアロビックダンス・レジスタンス実践⑧(指導練習)
	11	エアロビックダンス・レジスタンス実践⑨(指導練習)
	12	エアロビックダンス・レジスタンス実践⑩(指導練習)
	13	エアロビックダンス・レジスタンス実践⑪(指導練習)
	14	期末考査対策
	15	期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	水中運動Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択E
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	アクアエクササイズのインストラクターの役割を理解し、指導法を習得する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	健康運動実践指導者養成用テキストの水泳・水中運動範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 水中運動実践①（アクアダンスの指導法） 2 水中運動実践②（アクアダンスの指導法） 3 水中運動実践③（アクアダンスの指導法） 4 水中運動実践④（アクアダンスの指導法） 5 水中運動実践⑤（アクアダンスの指導法） 6 水中運動実践⑥（アクアダンスの指導法） 7 水中運動実践⑦（アクアダンスの指導法） 8 中間考査 9 水中運動実践⑧（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法） 10 水中運動実践⑨（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法） 11 水中運動実践⑩（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法） 12 水中運動実践⑪（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法） 13 水中運動実践⑫（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法） 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	健康運動実践指導者理論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択E
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	健康運動指導者検定試験に向けて、テキストの内容を理解した上で各章の問題演習を行う
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	健康運動実践指導者検定試験に向けた問題形式の理解を深める
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 運動指導の心理学的基礎① 2 運動指導の心理学的基礎② 3 健康づくり運動の実際① ウォームアップとクールダウン、ストレッチング 4 健康づくり運動の実際② ウォーキングとジョギング、エアロビクスダンス 5 健康づくり運動の実際③ 水泳・水中運動、レジスタンスエクササイズ 6 運動障害と予防・救急処置① 7 運動障害と予防・救急処置② 8 前期中間考査 9 問題演習① 10 問題演習② 11 問題演習③ 12 問題演習④ 13 問題演習⑤ 14 問題演習⑥ 15 前期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50～100題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	解剖学Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目 選択E
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	運動器の骨、筋、靭帯、関節の機能を理解させる
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	整形外科的範囲内の機能解剖学の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、トレーニング指導者テキスト(理論編)、ボディナビゲーション
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 機能解剖 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成① 2 機能解剖 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成② 3 機能解剖 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成③ 4 機能解剖 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成④ 5 機能解剖 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成⑤ 6 機能解剖 傷害の受傷から復帰までのトレーニングとプログラム作成⑥ 7 前期中間考査 8 機能解剖 上肢の関節 9 機能解剖 上肢の神経と血管① 10 機能解剖 上肢の神経と血管② 11 機能解剖 上肢の筋① 12 機能解剖 上肢の筋② 13 機能解剖 上肢の筋③ 14 前期期末考査 15 機能解剖 下肢の骨、関節、筋肉 16 機能解剖 下肢の神経と動脈 17 機能解剖 下肢 股関節の筋① 18 機能解剖 下肢 股関節の筋② 19 機能解剖 下肢 足関節の筋① 20 機能解剖 下肢 足関節の筋② 21 後期中間考査 22 解剖学問題演習(模擬問題集)① 23 解剖学問題演習(模擬問題集)② 24 解剖学問題演習(模擬問題集)③ 25 解剖学問題演習(模擬問題集)④ 26 後期期末考査 27 解剖学問題演習(模擬問題集)⑤ 28 解剖学問題演習(模擬問題集)⑥ 29 解剖学問題演習(模擬問題集)⑦ 30 解剖学問題演習(模擬問題集)⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50～100題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	運動生理学Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目 選択E
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	筋の役割や呼吸循環系といった運動生理学の知識とトレーニングとの関連性を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	JATIの試験に必要な運動生理学範囲の知識を身につける
教科書	トレーニング指導者テキスト(理論編)
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 呼吸循環系 エネルギー代謝の基礎的情報① 2 呼吸循環系 エネルギー代謝の基礎的情報② 3 呼吸循環系 運動とエネルギー代謝① 4 呼吸循環系 運動とエネルギー代謝② 5 呼吸循環系 トレーニングとエネルギー代謝① 6 呼吸循環系 トレーニングとエネルギー代謝② 7 前期中間考査対策 8 前期中間考査 9 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動 骨格筋の形態と機能① 10 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動 骨格筋の形態と機能② 11 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動 筋力発揮のメカニズム① 12 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動 筋力発揮のメカニズム② 13 前期期末考査対策 14 前期期末考査 15 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動 筋・神経系に対するトレーニング効果① 16 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動 筋・神経系に対するトレーニング効果② 17 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動 主な内分泌器官とホルモン① 18 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動 主な内分泌器官とホルモン② 19 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動 身体機能へのホルモンの作用① 20 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動 身体機能へのホルモンの作用② 21 後期中間考査対策 22 後期中間考査 23 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動 筋肥大におけるホルモンの役割① 24 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動 筋肥大におけるホルモンの役割② 25 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動 レジスタンストレーニングとホルモンの分泌① 26 骨格筋系、神経系、内分泌系と運動 レジスタンストレーニングとホルモンの分泌② 27 後期期末考査対策 28 後期期末考査 29 JATI検定対策 30 JATI検定対策
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50～100題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	アクアエクササイズ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択E
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	アクアエクササイズのインストラクターの役割を理解し、指導法を習得する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	各種テキストの水泳・水中運動範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、アクアエクササイズ指導理論
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 水中レジスタンス、アクアダンスの特性・効果 2 水中運動実践①（水中レジスタンスの基本動作、運動強度） 3 水中運動実践②（水中レジスタンスのプログラミング） 4 水中運動実践③（水中レジスタンスの指導法） 5 水中運動実践④（水中レジスタンスの指導法） 6 水中運動実践⑤（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法） 7 水中運動実践⑥（水中ウォーキング、レジスタンスの指導法） 8 中間考査 9 腰痛者、妊婦などの対象者への指導、注意点 10 水中運動実践⑦（アクアダンスの基本動作） 11 水中運動実践⑧（アクアダンスの運動強度） 12 水中運動実践⑨（アクアダンスのプログラミング） 13 水中運動実践⑩（アクアダンスのコリオグラフィー） 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	エアロビクスⅡ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目 選択E
授業方法	実習(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	エアロビクスのインストラクターの役割を理解し、指導法を習得する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	各種テキストのエアロビクスの範囲の内容を理解させる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト、エアロビックダンスエクササイズの指導理論
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 環境条件(音楽、心拍数、強度、服装、用具、シューズ、床) 2 運動指導上の注意点、指導者の役割 3 エアロビックダンス実践①(プログラミング:運動強度) 4 エアロビックダンス実践②(プログラミング:つなぎ、コンビネーション) 5 エアロビックダンス実践③(プログラミング:安全性、リニア) 6 エアロビックダンス実践④(指導法:キューイング) 7 エアロビックダンス実践⑤(指導の循環) 8 中間考査 9 エアロビックダンス実践⑥(指導練習) 10 エアロビックダンス実践⑦(指導練習) 11 エアロビックダンス実践⑧(指導練習) 12 エアロビックダンス実践⑨(指導練習) 13 エアロビックダンス実践⑩(指導練習) 14 期末考査対策 15 期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	トレーニング指導者理論
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目 選択E
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	JATI検定試験に向けて、テキストの内容を理解した上で各章の問題演習を行う
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	JATI検定試験に向けた問題形式の理解を深める
教科書	トレーニング指導者テキスト(理論編)、JATI新問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 体力学総論 2 機能解剖学① 上肢 3 機能解剖学② 脊柱と胸郭 4 機能解剖学③ 下肢 5 バイオメカニクス① 基礎理論 6 バイオメカニクス② スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス 7 運動生理学① 8 運動生理学② 9 前期中間考査 10 運動と栄養 11 運動と心理 12 運動と医学① 救急処置法、スポーツ選手の整形外科的傷害と予防 13 運動と医学② 生活習慣病とその予防 14 運動指導の科学 15 前期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50～100題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	トレーニング指導者実践
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目 選択E
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	JATI検定試験に向けて、テキストの内容を理解した上で各章の問題演習を行う
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	JATI検定試験に向けた問題形式の理解を深める
教科書	トレーニング指導者テキスト(実践編)、JATI新問題集
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 トレーニング指導者論 2 各種トレーニング法の理論とプログラム① 3 各種トレーニング法の理論とプログラム② 4 各種トレーニング法の理論とプログラム③ 5 各種トレーニング法の理論とプログラム④ 6 各種トレーニング法の理論とプログラム⑤ 7 後期中間考査 8 各種トレーニング法の実際① 9 各種トレーニング法の実際② 10 各種トレーニング法の実際③ 11 各種トレーニング法の実際④ 12 トレーニング効果の測定と評価① 13 トレーニング効果の測定と評価② 14 トレーニングの運営と情報収集と活用 15 後期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50～100題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング指導者演習 I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	専門科目 選択E	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	JATI(理論編)範囲の一般科目検定試験に向けた演習授業を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	JATI(理論編)範囲の一般科目検定試験の合格レベル(70点以上)の到達できるように行う	
教科書	トレーニング指導者テキスト(理論編)、JATI新問題集	
特記		
授業計画	1	問題演習①
	2	問題演習②
	3	問題演習③
	4	問題演習④
	5	問題演習⑤
	6	問題演習⑥
	7	問題演習⑦
	8	前期中間考査
	9	問題演習⑧
	10	問題演習⑨
	11	問題演習⑩
	12	問題演習⑪
	13	問題演習⑫
	14	問題演習⑬
	15	前期期末考査
	16	問題演習⑭
	17	問題演習⑮
	18	問題演習⑯
	19	問題演習⑰
	20	問題演習⑱
	21	問題演習⑲
	22	後期中間考査
	23	問題演習⑳
	24	問題演習㉑
	25	問題演習㉒
	26	問題演習㉓
	27	問題演習㉔
	28	問題演習㉕
	29	後期期末考査
	30	検定模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50~100題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング指導者演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 選択E	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	JATI(実践編)範囲の一般科目検定試験に向けた演習授業を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	JATI(実践編)範囲の一般科目検定試験の合格レベル(70点以上)の到達できるように行う	
教科書	トレーニング指導者テキスト(実践編)、JATI新問題集	
特記		
授業計画	1	問題演習①
	2	問題演習②
	3	問題演習③
	4	問題演習④
	5	問題演習⑤
	6	問題演習⑥
	7	問題演習⑦
	8	前期中間考査
	9	問題演習⑧
	10	問題演習⑨
	11	問題演習⑩
	12	問題演習⑪
	13	問題演習⑫
	14	問題演習⑬
	15	前期期末考査
	16	問題演習⑭
	17	問題演習⑮
	18	問題演習⑯
	19	問題演習⑰
	20	問題演習⑱
	21	問題演習⑲
	22	後期中間考査
	23	問題演習⑳
	24	問題演習㉑
	25	問題演習㉒
	26	問題演習㉓
	27	問題演習㉔
	28	問題演習㉕
	29	後期期末考査
	30	検定模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50～100題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	リハビリテーションⅡ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択F
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	筋・筋膜への包括的なアプローチ方法について学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	様々な対象に対して筋、筋膜のアプローチが行えるようにする
教科書	ボディナビゲーション
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 ガイダンス（セルフモニタリングのやり方について） 2 解剖学① 表層筋 3 解剖学② 深層筋 4 表層筋へのアプローチ① 5 表層筋へのアプローチ② 6 表層筋へのアプローチ③ 7 深層筋へのアプローチ① 8 深層筋へのアプローチ② 9 深層筋へのアプローチ③ 10 後期中間考査 11 様々な対象へのアプローチ① 12 様々な対象へのアプローチ② 13 様々な対象へのアプローチ③ 14 様々な対象へのアプローチ④ 15 後期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	フィットネス実践Ⅲ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択F
授業方法	実習(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	グループレッスンに必要な知識、実技スキルの活用方法を指導を通じて伝達する。
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	基礎から応用まで幅広いグループレッスンの運動指導ができるようになる
教科書	健康運動実践指導者養成用テキスト
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス(グループレッスンの種類、特徴、基本構成) 2 レッスンプログラミング応用① ウォームアップとクールダウン指導 3 レッスンプログラミング応用② 筋コンディショニング指導 4 レッスンプログラミング応用③ その他ツール使用の指導 5 レッスンプログラミング応用④ カウントとキューイング指導 6 レッスンプログラミング応用⑤ モデルレッスン作成指導 7 レッスンプログラミング応用⑥ モデルレッスン実践指導 8 後期中間考査 9 特殊な対象への運動指導時の留意点① 10 特殊な対象への運動指導時の留意点② 11 エクササイズ指導① 12 エクササイズ指導② 13 エクササイズ指導③ 14 エクササイズ指導④ 15 後期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング指導者演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 選択F	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業コマ数	30コマ	
授業概要	JATI(実践編)範囲の一般科目検定試験に向けた演習授業を行う	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	JATI(実践編)範囲の一般科目検定試験の合格レベル(70点以上)の到達できるように行う	
教科書	トレーニング指導者テキスト(実践編)、JATI新問題集	
特記		
授業計画	1	問題演習①
	2	問題演習②
	3	問題演習③
	4	問題演習④
	5	問題演習⑤
	6	問題演習⑥
	7	問題演習⑦
	8	前期中間考査
	9	問題演習⑧
	10	問題演習⑨
	11	問題演習⑩
	12	問題演習⑪
	13	問題演習⑫
	14	問題演習⑬
	15	前期期末考査
	16	問題演習⑭
	17	問題演習⑮
	18	問題演習⑯
	19	問題演習⑰
	20	問題演習⑱
	21	問題演習⑲
	22	後期中間考査
	23	問題演習⑳
	24	問題演習㉑
	25	問題演習㉒
	26	問題演習㉓
	27	問題演習㉔
	28	問題演習㉕
	29	後期期末考査
	30	検定模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 50～100題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	フィットネス実践Ⅳ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	通年
科目区分	専門科目 選択F
授業方法	実習(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	ダンスの基礎、応用技能を身につける
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	ダンス大会に出場できる技能を身につける
教科書	
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 ガイダンス(ダンスジャンルの紹介、デモレッスン) 2 応用エクササイズ、テクニックレクチャー① 3 応用エクササイズ、テクニックレクチャー② 4 応用エクササイズ、テクニックレクチャー③ 5 応用エクササイズ、テクニックレクチャー④ 6 応用エクササイズ、テクニックレクチャー⑤ 7 応用エクササイズ、テクニックレクチャー⑥ 8 前期期末考査 9 ダンスフェスティバルチーム練習① 10 ダンスフェスティバルチーム練習② 11 ダンスフェスティバルチーム練習③ 12 ダンスフェスティバルチーム練習④ 13 ダンスフェスティバルチーム練習⑤ 14 ダンスフェスティバルチーム練習⑥ 15 後期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践VI
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択F
授業方法	実習(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	走る、跳ぶに特化したトレーニング科学の概論を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	スポーツ選手を対象とした運動指導ができるようになる
教科書	トレーニング指導者テキスト(実践編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	1 ガイダンス(スピードの概念、基本動作) 2 体幹トレーニング概論① 3 体幹トレーニング概論② 4 スプリント実践① スタート動作 5 スプリント実践② 減速動作 6 スプリント実践③ フリープロGREッション 7 まとめ 8 後期中間考査 9 ジャンプ実践① スクワット～スクワットジャンプ 10 ジャンプ実践② 連続ジャンプ～ターンジャンプへの応用 11 ラテラル動作① サイドウォーク～サイドステップ 12 ラテラル動作② 切り返し動作 13 フリープロGREッション応用 リニア～ラテラル ラテラル～リニア 14 まとめ 15 後期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅶ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択F
授業方法	実習(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	パーソナルトレーニング指導において様々なトレーニング方法とプログラミング方法を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	様々なクライアントに対して適切なトレーニングメニューの作成を行えるようにする
教科書	トレーニング指導者テキスト(実践編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス(強度、頻度、回数の応用理論) 2 スロートレーニング① 3 スロートレーニング② 4 スロートレーニング③ 5 徒手抵抗トレーニング① 6 徒手抵抗トレーニング② 7 まとめ 8 後期中間考査 9 パリステイックトレーニング① 10 パリステイックトレーニング② 11 様々なクライアントを対象としたプログラミング① 12 様々なクライアントを対象としたプログラミング② 13 様々なクライアントを対象としたプログラミング③ 14 まとめ 15 後期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	トレーニング実践Ⅷ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択F
授業方法	実習(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	様々な有酸素、無酸素運動のトレーニング方法とプログラミング方法を学ぶ
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	様々なクライアントに対して適切なトレーニングメニューの作成を行えるようにする
教科書	トレーニング指導者テキスト(実践編)
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス(持久力に関する基礎理論) 2 適切なウォームアップとクールダウン 3 LSDトレーニング 4 ATペーストレーニング 5 タイムトライアル 6 ビルドアップ 7 ファルトレク 8 後期中間考査 9 インターバルトレーニング① 10 インターバルトレーニング② 11 レペティショントレーニング 12 レジスタンストレーニング及びプライオメトリクス 13 様々なクライアントを対象としたプログラミング① 14 様々なクライアントを対象としたプログラミング② 15 後期期末考査
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技もしくは筆記で効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	幼児体育指導者理論Ⅱ
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	専門科目 選択F
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	子どもの運動指導に必要とされる発育発達論、幼児体育論、指導プログラムを理解する
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ
達成目標	適切な幼児体育指導の基礎的知識を習得させる
教科書	幼児体育指導者検定公式テキスト 2・3級
特記	実務経験者による実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 幼児の発達の様相1 (スカモンの発育曲線に見る運動の発達順序) 2 幼児の発達の様相2 (乳幼児から幼児期への身体発達) 3 幼児期における運動中枢の未分化と発達過程における左右交替の原理) 4 幼児における外発的動機づけと内発的動機づけ 5 学習の適時性1 (臨界期とレディネス) 6 学習の適時性2 (身体的心理面からの幼児の発達の特徴の理解) 7 学習曲線のタイプ別理解1 (タイプA、B) 8 学習曲線のタイプ別理解2 (タイプC、D、E) 9 運動(技能)学習の過程1 (初期効果) 10 運動(技能)学習の過程2 (高原現象について) 11 運動(技能)学習の過程3 (学習の移転) 12 学習方法について (全習法と分習法の選択) 13 教育の6原則1 (動機、目的、実習の原則について) 14 教育の6原則2 (現実性、経験、関連性の原則) 15 上記内容の確認考査
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	販売知識基礎	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 選択G	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 販売員の役割① 2 販売員の役割② 3 販売員の役割③ 4 販売員の法廷知識① 5 販売員の法廷知識② 6 販売員の法廷知識③ 7 小売業の計数管理① 8 小売業の計数管理② 9 小売業の計数管理③ 10 店舗管理① 11 店舗管理② 12 店舗管理③ 13 店舗管理④ 14 店舗管理⑤ 15 店舗管理⑥ 16 流通における小売業① 17 流通における小売業② 18 流通における小売業③ 19 流通における小売業④ 20 流通における小売業⑤ 21 流通における小売業⑥ 22 組織形態別小売業① 23 組織形態別小売業② 24 組織形態別小売業③ 25 店舗形態別小売業① 26 店舗形態別小売業② 27 店舗形態別小売業③ 28 商業集積① 29 商業集積② 30 商業集積③	31 商業集積④ 32 商業集積⑤ 33 商業集積⑥ 34 小売業のマーケティング① 35 小売業のマーケティング② 36 小売業のマーケティング③ 37 小売業のマーケティング④ 38 小売業のマーケティング⑤ 39 小売業のマーケティング⑥ 40 顧客満足経営① 41 顧客満足経営② 42 顧客満足経営③ 43 顧客満足経営④ 44 顧客満足経営⑤ 45 顧客満足経営⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	販売知識応用	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 選択G	
授業方法	講義	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する	
授業の進め方	有識者の指導を基により実践的な知識を学ぶ	
達成目標	リテールマーケティング検定3級レベルの知識を理解し身に付ける	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1 証券の設定と出店① 2 証券の設定と出店② 3 証券の設定と出店③ 4 リーショナルプロモーション① 5 リーショナルプロモーション② 6 リーショナルプロモーション③ 7 顧客志向型売り場づくり① 8 顧客志向型売り場づくり② 9 顧客志向型売り場づくり③ 10 ストアオペレーション① 11 ストアオペレーション② 12 ストアオペレーション③ 13 ストアオペレーション④ 14 ストアオペレーション⑤ 15 ストアオペレーション⑥ 16 梱包技術① 17 梱包技術② 18 梱包技術③ 19 ディ스플레이① 20 ディ스플레이② 21 ディ스플레이③ 22 商品① 23 商品② 24 商品③ 25 マーチャンダイジング① 26 マーチャンダイジング② 27 マーチャンダイジング③ 28 マーチャンダイジング④ 29 マーチャンダイジング⑤ 30 マーチャンダイジング⑥	31 商品計画① 32 商品計画② 33 商品計画③ 34 販売計画及び仕入れ計画① 35 販売計画及び仕入れ計画② 36 販売計画及び仕入れ計画③ 37 価格設定① 38 価格設定② 39 価格設定③ 40 在庫管理① 41 在庫管理② 42 在庫管理③ 43 販売管理① 44 販売管理② 45 販売管理③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ライフプランニング概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義・演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 教育・住宅取得資金計画 2 社会保険 3 老後の生活資金設計と公的年金 4 公的年金における障害給付・遺族給付 5 公的年金制度の共通事項 6 企業年金・自営業者のための年金 7 項目別答練① 8 項目別答練② 9 項目別答練③ 10 直前模擬試験① 11 直前模擬試験② 12 直前模擬試験③ 13 直前模擬試験④ 14 直前模擬試験⑤ 15 直前模擬試験⑥ 16 教育・住宅取得資金計画(応用) 17 社会保険(応用)① 18 社会保険(応用)② 19 老後の生活資金設計と公的年金(応用)① 20 老後の生活資金設計と公的年金(応用)② 21 公的年金における障害給付(応用) 22 公的年金における遺族給付(応用) 23 企業年金・自営業者のための年金(応用) 24 ライフプランニングの考え方 25 中小法人の資金計画・決算書の分析 26 まとめ 総復習(応用) 27 まとめ 総復習(応用) 28 まとめ 総復習(応用) 29 まとめ 総復習(応用) 30 項目別模擬試験(応用)
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	リスク管理概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義・演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法(実技科目)を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 生命保険の概略 2 生命保険商品の種類と内容 3 損害保険商品の種類と内容 4 個人の契約に関する税金 5 法人の契約に関する税金 6 第三分野の保険・共済 7 項目別答練① 8 項目別答練② 9 項目別答練③ 10 直前模擬試験① 11 直前模擬試験② 12 直前模擬試験③ 13 直前模擬試験④ 14 直前模擬試験⑤ 15 直前模擬試験⑥ 16 生命保険の概略(応用) 17 生命保険商品の種類と内容(応用)① 18 生命保険商品の種類と内容(応用)② 19 生命保険商品の種類と内容(応用)③ 20 損害保険商品の種類と内容(応用)① 21 損害保険商品の種類と内容(応用)② 22 個人の契約に関する税金(応用)① 23 個人の契約に関する税金(応用)② 24 法人の契約に関する税金(応用) 25 第三分野の保険・共済(応用) 26 まとめ 総復習(応用) 27 まとめ 総復習(応用) 28 まとめ 総復習(応用) 29 まとめ 総復習(応用) 30 項目別模擬試験(応用)
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	金融資産運用設計概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義・演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法(実技科目)を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 マーケット環境の理解 2 預貯金等 3 債券 4 株式 5 投資信託 6 ポートフォリオ運用・セーフティネット・関連法規 7 項目別答練① 8 項目別答練② 9 項目別答練③ 10 直前模擬試験① 11 直前模擬試験② 12 直前模擬試験③ 13 直前模擬試験④ 14 直前模擬試験⑤ 15 直前模擬試験⑥ 16 マーケット環境の理解(応用) 17 預貯金等(応用)① 18 預貯金等(応用)②、債券(応用)① 19 債券(応用)②、株式(応用)① 20 株式(応用)② 21 投資信託(応用)① 22 投資信託(応用)② 23 金融派生商品(応用)、ポートフォリオ(応用)① 24 ポートフォリオ(応用)②、金融商品と税金(応用) 25 セーフティネット(応用)、関連法規(応用) 26 まとめ 総復習(応用) 27 まとめ 総復習(応用) 28 まとめ 総復習(応用) 29 まとめ 総復習(応用) 30 項目別模擬試験(応用)
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	タックスプランニング概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義・演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 各種所得の内容① 2 各種所得の内容② 3 課税標準の計算 4 所得控除① 5 所得控除② 6 確定申告 7 項目別答練① 8 項目別答練② 9 項目別答練③ 10 直前模擬試験① 11 直前模擬試験② 12 直前模擬試験③ 13 直前模擬試験④ 14 直前模擬試験⑤ 15 直前模擬試験⑥ 16 所得税の仕組み(応用)、各種所得の内容(応用)① 17 各種所得の内容(応用)②、課税標準の計算(応用) 18 所得控除(応用)① 19 所得控除(応用)② 20 税額控除(応用) 21 確定申告(応用) 22 法人税① 23 法人税② 24 法人税③ 25 消費税 26 まとめ 総復習(応用) 27 まとめ 総復習(応用) 28 まとめ 総復習(応用) 29 まとめ 総復習(応用) 30 項目別模擬試験(応用)
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	不動産運用設計概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義・演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法(実技科目)を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 不動産の見方 2 不動産の取引① 3 不動産の取引② 4 不動産に関する法令上の制限① 5 不動産に関する法令上の制限② 6 不動産に係る税金 7 不動産の有効活用 8 項目別答練① 9 項目別答練② 10 直前模擬試験① 11 直前模擬試験② 12 直前模擬試験③ 13 直前模擬試験④ 14 直前模擬試験⑤ 15 直前模擬試験⑥ 16 不動産の見方(応用) 17 不動産の取引(応用)① 18 不動産の取引(応用)② 19 不動産の取引(応用)③、不動産に関する法令上の制限(応用)① 20 不動産に関する法令上の制限(応用)② 21 不動産に係る税金(応用)① 22 不動産に係る税金(応用)② 23 不動産の有効活用(応用) 24 まとめ 総復習(応用) 25 まとめ 総復習(応用) 26 まとめ 総復習(応用) 27 まとめ 総復習(応用) 28 まとめ 総復習(応用) 29 まとめ 総復習(応用) 30 項目別模擬試験(応用)
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	相続・事業継承設計概論Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義・演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 相続と法律 2 贈与と法律 3 贈与と税金 4 相続と税金 5 財産の評価(不動産) 6 財産の評価(金融資産) 7 相続・事業承継対策 8 項目別答練① 9 項目別答練② 10 直前模擬試験① 11 直前模擬試験② 12 直前模擬試験③ 13 直前模擬試験④ 14 直前模擬試験⑤ 15 直前模擬試験⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	ライフプランニング概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義・演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	社会保険全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況に応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 項目別答練(応用)① 2 項目別答練(応用)② 3 項目別答練(応用)③ 4 直前模擬試験① 5 直前模擬試験② 6 直前模擬試験③ 7 直前模擬試験④ 8 直前模擬試験⑤ 9 直前模擬試験⑥ 10 直前模擬試験⑦ 11 直前模擬試験⑧ 12 直前模擬試験⑨ 13 直前模擬試験⑩ 14 直前模擬試験⑪ 15 直前模擬試験⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	リスク管理概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	保険全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況に応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 項目別答練(応用)① 2 項目別答練(応用)② 3 項目別答練(応用)③ 4 直前模擬試験① 5 直前模擬試験② 6 直前模擬試験③ 7 直前模擬試験④ 8 直前模擬試験⑤ 9 直前模擬試験⑥ 10 直前模擬試験⑦ 11 直前模擬試験⑧ 12 直前模擬試験⑨ 13 直前模擬試験⑩ 14 直前模擬試験⑪ 15 直前模擬試験⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	金融資産運用設計概論Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 選択G	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	金融資産運用に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ。	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	専門的な用語を理解し、状況に応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	項目別答練(応用)①
	2	項目別答練(応用)②
	3	項目別答練(応用)③
	4	直前模擬試験①
	5	直前模擬試験②
	6	直前模擬試験③
	7	直前模擬試験④
	8	直前模擬試験⑤
	9	直前模擬試験⑥
	10	直前模擬試験⑦
	11	直前模擬試験⑧
	12	直前模擬試験⑨
	13	直前模擬試験⑩
	14	直前模擬試験⑪
	15	直前模擬試験⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	タックスプランニング概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	税金全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況に応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 項目別答練(応用)① 2 項目別答練(応用)② 3 項目別答練(応用)③ 4 直前模擬試験① 5 直前模擬試験② 6 直前模擬試験③ 7 直前模擬試験④ 8 直前模擬試験⑤ 9 直前模擬試験⑥ 10 直前模擬試験⑦ 11 直前模擬試験⑧ 12 直前模擬試験⑨ 13 直前模擬試験⑩ 14 直前模擬試験⑪ 15 直前模擬試験⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	不動産運用設計概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	不動産に関する法律や専門用語、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況に応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 項目別答練(応用)① 2 項目別答練(応用)② 3 項目別答練(応用)③ 4 直前模擬試験① 5 直前模擬試験② 6 直前模擬試験③ 7 直前模擬試験④ 8 直前模擬試験⑤ 9 直前模擬試験⑥ 10 直前模擬試験⑦ 11 直前模擬試験⑧ 12 直前模擬試験⑨ 13 直前模擬試験⑩ 14 直前模擬試験⑪ 15 直前模擬試験⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	相続・事業継承設計概論Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	相続・贈与等に関連する用語の理解、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ。
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	専門的な用語を理解し、状況に応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す。
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 相続と法律(応用)、贈与と法律(応用)、贈与と税金(応用) 2 相続と税金(応用)、財産の評価(不動産)(応用) 3 財産の評価(金融資産)(応用)、相続・事業承継対策(応用) 4 直前模擬試験① 5 直前模擬試験② 6 直前模擬試験③ 7 直前模擬試験④ 8 直前模擬試験⑤ 9 直前模擬試験⑥ 10 直前模擬試験⑦ 11 直前模擬試験⑧ 12 直前模擬試験⑨ 13 直前模擬試験⑩ 14 直前模擬試験⑪ 15 直前模擬試験⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	金融市場政策論
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習による知識の習得
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 金融の役割① 2 金融の役割② 3 金融の役割③ 4 各種金融市場① 5 各種金融市場② 6 各種金融市場③ 7 中央銀行の役割① 8 中央銀行の役割② 9 中央銀行の役割③ 10 中央銀行の役割④ 11 中央銀行の役割⑤ 12 中央銀行の役割⑥ 13 世界の中央銀行 14 総まとめ 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経営常識
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義及び演習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習による知識の習得
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 国際社会に関する基礎用語 2~3 国際社会に関する事例学習 4 経済に関する基礎用語 5 経済に関する事例学習 6 労働環境に関する基礎用語 7 労働環境に関する事例学習 8 経営に関する基礎用語 9~10 経営に関する事例学習 11 IT社会に関する基礎用語 12~13 IT社会に関する事例学習 14 AIに関する基礎用語 15 AIに関する事例学習
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅢ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 社会人マナー 2 冠婚葬祭マナー 3 贈答マナー 4 会食マナー 5 時事研究 6 グループ討議① 7 グループ討議② 8 グループ討議③ 9 グループ討議④ 10 グループ討議⑤ 11 グループ討議⑥ 12 グループ討議⑦ 13 グループ討議⑧ 14 グループ討議⑨ 15 発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経理キャリアデザイン I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	経理職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 経理職に適したスーツの着こなし 2 経理職に適した身だしなみ 3 敬語の使い方 4 経理職で良く聞かれる質疑応答① 5 経理職で良く聞かれる質疑応答② 6 筆記試験とは(一般常識試験)① 7 筆記試験とは(一般常識試験)② 8 筆記試験とは(適性検査試験)① 9 筆記試験とは(適性検査試験)② 10 作文の目的・形式と内容① 11 作文の目的・形式と内容② 12 作文の実践テクニック① 13 作文の実践テクニック② 14 作文の実践テクニック③ 15 作文の実践テクニック④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経理キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	経理職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理職内定へ向けた志望理由を作れるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 仕事選びの基準 2 求人票からの情報収集 3 会社四季報、新聞からの情報収集① 4 会社四季報、新聞からの情報収集② 5 総合職と一般職 6 経理職職種研究① 7 経理職職種研究② 8 経理職職種研究③ 9 経理職職種研究④ 10 経理職職種研究⑤ 11 経理職への志望理由① 12 経理職への志望理由② 13 経理職への志望理由③ 14 経理職への志望理由④ 15 経理職への志望理由⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	経理キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 選択G	
授業方法	講義	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	挨拶の種類・笑顔、お辞儀
	2	正しい敬語の使い方
	3	状況に応じた言葉遣い
	4・5	演習
	6・7	効果測定
	8	対応の基本
	9	名刺交換
	10・11	演習
	12・13	総合演習
	14・15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 選択G	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	30時間（1単位）	
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	挨拶の種類・笑顔、お辞儀
	2	正しい敬語の使い方
	3	状況に応じた言葉遣い
	4・5	演習
	6・7	効果測定
	8	対応の基本
	9	名刺交換
	10・11	演習
	12・13	総合演習
	14・15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザインⅣ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 選択G	
授業方法	実習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	電話対応のマナー
	2	電話の受け方の基本
	3	電話の受け方～道案内～
	4～6	演習
	7	電話のかけ方
	8～11	演習
	12	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザインⅤ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 選択G	
授業方法	実習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	状況別の電話対応
	2	状況別の対応方法
	3~5	演習
	6~8	電話対応練習①
	9	伝言の受け方
	10~11	演習
	13	電話対応練習②
	14・15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	事務キャリアデザインⅥ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 状況別オフィスワーク 2 総合ロールプレイング 3 総合ロールプレイング 4 総合ロールプレイング 5 総合ロールプレイング 6 総合ロールプレイング 7 総合ロールプレイング 8 総合ロールプレイング 9 総合ロールプレイング 10 総合ロールプレイング 11 総合ロールプレイング 12 総合ロールプレイング 13 効果測定 14 効果測定 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅢ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 挨拶の種類・笑顔、お辞儀 2 正しい敬語の使い方 3 状況に応じた言葉遣い 4 演習① 5 演習② 6 効果測定① 7 効果測定② 8 対応の基本 9 名刺交換 10 演習① 11 演習② 12 総合演習① 13 総合演習② 14 効果測定① 15 効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 実習への参加姿勢、実習内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅣ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 接客販売の心得 2 お客様の心理理解 3 接客用語 4 状況別の店内接客 5 状況別の店内接客 6 演習 7 演習 8 電話対応での問い合わせ 9 演習 10 演習 11 総合演習 12 総合演習 13 総合演習 14 効果測定 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインⅤ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 営業職のマナー① 2 営業職のマナー② 3 訪問のマナー① 4 訪問のマナー② 5 演習 6 演習 7 商談の進め方① 8 商談の進め方② 9 演習 10 演習 11 総合演習 12 総合演習 13 総合演習 14 効果測定 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	流通キャリアデザインVI
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 商品説明知識 2 好感を持たれる商品説明 3 演習 4 演習 5 クレームとは 6 電話でのクレーム対応方法 7 演習 8 演習 9 店内でのクレーム対応方法 10 演習 11 演習 12 総合演習 13 総合演習 14 効果測定 15 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	コミュニケーション実践
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 グループディスカッションとは 2 グループディスカッションの役割 3 抽象テーマ型グループディスカッション① 4 抽象テーマ型グループディスカッション② 5 抽象テーマ型グループディスカッション③ 6 課題解決型グループディスカッション① 7 課題解決型グループディスカッション② 8 課題解決型グループディスカッション③ 9 資料読み取り型グループディスカッション① 10 資料読み取り型グループディスカッション② 11 資料読み取り型グループディスカッション③ 12 フェルミ推定 13 KJ法 14 その他特殊型① 15 その他特殊型②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	Word基礎
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 文章の作成① 2 文章の作成② 3 文章内の移動① 4 文章内の移動② 5 文章の書式設定① 6 文章の書式設定② 7 文章の書式設定③ 8 文章の書式設定④ 9 オプションの設定、表示のカスタマイズ① 11 オプションの設定、表示のカスタマイズ② 12 オプションの設定、表示のカスタマイズ③ 13 文章の印刷、保存① 14 文章の印刷、保存② 15 文章の印刷、保存③ 16 文章の印刷、保存④ 17 文字列・段落の挿入① 18 文字列・段落の挿入② 19 文字列・段落の挿入③ 20 文字列・段落の挿入④ 21 文字列・段落の書式設定① 22 文字列・段落の書式設定② 23 文字列・段落の書式設定③ 24 文字列・段落の書式設定④ 25 文字列・段落の書式設定⑤ 26 文字列・段落の並び替え、グループ化① 27 文字列・段落の並び替え、グループ化② 28 文字列・段落の並び替え、グループ化③ 29 文字列・段落の並び替え、グループ化④ 30 文字列・段落の並び替え、グループ化⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	Word応用
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 表の作成 2 表の変更① 3 表の変更② 4 リストの作成、変更① 5 リストの作成、変更② 6 参照のための情報・記号の作成、管理① 7 参照のための情報・記号の作成、管理② 8 標準の参考資料作成、管理① 9 標準の参考資料作成、管理② 10 グラフィック要素の挿入① 11 グラフィック要素の挿入② 12 グラフィック要素の書式設定① 13 グラフィック要素の書式設定② 14 SmartArtの挿入、書式設定① 15 SmartArtの挿入、書式設定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	Excel応用
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	MOS Excel試験に合格するために必要な操作に関する総合的な知識を身につけるための演習
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 ワークシートやブックの作成と管理 2 セルやセル範囲のデータの管理 3 テーブルの作成 4 テーブルの作成 5 関数を使用してのデータ集計① 6 関数を使用してのデータ集計② 7 関数を使用しての条件付き計算① 8 関数を使用しての条件付き計算② 9 関数を使用しての条件付き計算③ 10 関数を使用した文字列の整形や変更① 11 関数を使用した文字列の整形や変更② 12 グラフの作成① 13 グラフの作成② 14 グラフの書式設定 15 オブジェクトの挿入や書式設定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	Power Point基礎
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	実習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身に付ける
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 プレゼンテーションの作成① 2 プレゼンテーションの作成② 3 スライドの挿入、書式設定① 4 スライドの挿入、書式設定② 5 配布資料、ノートの変更① 6 配布資料、ノートの変更② 7 配布資料、ノートの変更③ 8 スライドの並び替え、グループ化① 9 スライドの並び替え、グループ化② 10 スライドの並び替え、グループ化③ 11 オプションの変更① 12 オプションの変更② 13 オプションの変更③ 14 スライドショーの設定、実行① 15 スライドショーの設定、実行② 16 スライドショーの設定、実行③ 17 テキストの挿入、書式設定① 18 テキストの挿入、書式設定② 19 テキストの挿入、書式設定③ 20 図形・テキストボックスの挿入・書式設定① 21 図形・テキストボックスの挿入・書式設定② 22 図形・テキストボックスの挿入・書式設定③ 23 図の挿入、書式設定① 24 図の挿入、書式設定② 25 図の挿入、書式設定③ 26 図の挿入、書式設定④ 27 図形の並び替え、グループ化① 28 図形の並び替え、グループ化② 29 図形の並び替え、グループ化③ 30 図形の並び替え、グループ化④
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	Power Point応用
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの応用的な操作を習得する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	MOS PowerPointレベルの操作を習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 表の挿入、設定 2 グラフの挿入、書式設定① 3 グラフの挿入、書式設定② 4 SmartArtの挿入、書式設定① 5 SmartArtの挿入、書式設定② 6 メディアの挿入、管理① 7 メディアの挿入、管理② 8 画面切り替えの設定① 9 画面切り替えの設定② 10 アニメーションの設定① 11 アニメーションの設定② 12 複数のコンテンツの結合① 13 複数のコンテンツの結合② 14 プレゼンテーションの保護、共有① 15 プレゼンテーションの保護、共有②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 選択G	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60時間(2単位)	
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)	
授業概要	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	企業内で必要とされる基本的なマナーを習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1~3	学校と職場の違い
	4~6	職場のマナー
	7~9	仕事の進め方
	10~12	報告、連絡、相談
	13~15	挨拶
	16~18	笑顔、お辞儀
	19~21	敬語
	22~24	対応の基本
	25~27	電話対応
	28~30	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	接遇ビジネスマナー
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	企業内で必要とされる接遇に関する基本的なルールの学習をする
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 接遇マナーとは 2 接遇の心構え 3 お茶の入れ方、出し方 4 お見送り 5 後片付け 6 接遇の流れ① 7 接遇の流れ② 8 演習① 9 演習② 10 演習③ 11 演習④ 12 演習⑤ 13 演習⑥ 14 効果測定① 15 効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習 I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	Word、Excelを操作するための基礎的な知識を身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	基本的な入力操作や書式設定、画像や表の挿入、関数の使用方法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 一般的なビジネス文書の作成① 5 一般的なビジネス文書の作成② 6 一般的なビジネス文書の作成③ 7 シンプルなレポートや報告書の作成① 8 シンプルなレポートや報告書の作成② 9 シンプルなレポートや報告書の作成③ 10 表、画像、図形を使った文書の作成(1)① 11 表、画像、図形を使った文書の作成(1)② 12 表、画像、図形を使った文書の作成(1)③ 13 表、画像、図形を使った文書の作成(1)④ 14 表、画像、図形を使った文書の作成(1)⑤ 15 表、画像、図形を使った文書の作成(1)⑥
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅱ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	Word、Excelを操作し簡単な文書の作成、表やグラフを用いてレイアウトや見栄えの調節を行うためのスキルを身につける実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	タブやインデント、表やグラフを効果的に使用し見栄えの良い資料作成をすることができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 文章の作成と管理① 2 文章の作成と管理② 3 文章の作成と管理③ 4 表作成の基本操作① 5 表作成の基本操作② 6 表作成の基本操作③ 7 表、画像、図形を使った文書の作成(2)① 8 表、画像、図形を使った文書の作成(2)② 9 表、画像、図形を使った文書の作成(2)③ 10 見やすく使いやすい表にする編集操作① 11 見やすく使いやすい表にする編集操作② 12 見やすく使いやすい表にする編集操作③ 13 見やすく使いやすい表にする編集操作④ 14 見やすく使いやすい表にする編集操作⑤ 15 見やすく使いやすい表にする編集操作⑥
成績評価方法 (試験実施方法) 備考	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	実習
授業時間	30時間(1単位)
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)
授業概要	Word:長文を効率良く編集するためのスキルを習得する実習 Excel:目的に沿った編集を効率的に行うためのスキルを習得する実習
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る
達成目標	Word:段落やセクションを効果的に区切り、長文を効率良く編集できる Excel:複雑な関数や複数のシートを使ってのデータ集計や抽出を行い、目的に沿った編集ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 数式・関数を活用した集計表の作成① 5 数式・関数を活用した集計表の作成② 6 数式・関数を活用した集計表の作成③ 7 ワークシート間の集計① 8 ワークシート間の集計② 9 ワークシート間の集計③ 10 グラフの基本① 11 グラフの基本② 12 グラフの基本③ 13 目的に応じたグラフの作成と編集① 14 目的に応じたグラフの作成と編集② 15 目的に応じたグラフの作成と編集③
成績評価方法 (試験実施方法) 備考	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 選択G	
授業方法	実習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	Word：応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得のための実習 Excel：複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキル習得のための実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	Word：アウトライン機能や校閲機能を用い、効率的に正確なビジネス文章を作成することができる Excel：ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を使用して自動処理化することができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 文書の作成と管理① 2 文書の作成と管理② 3 文書の作成と管理③ 4 データベース機能の利用① 5 データベース機能の利用② 6 データベース機能の利用③ 7 データの抽出① 8 データの抽出② 9 データの抽出③ 10 ピボットテーブル① 11 ピボットテーブル② 12 ピボットテーブル③ 13 マクロによる作業の自動化① 14 マクロによる作業の自動化② 15 マクロによる作業の自動化③ 	
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習V	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 選択G	
授業方法	実習	
授業時間	180時間(6単位)	
授業コマ数	90コマ(1コマ90分)	
授業概要	反復練習と効果測定により、MOS試験の合格に必要な知識とスキルを身に付ける	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	Word: MOS Word2016またはWord2016エキスパートの合格を目指す	
教科書	問題集	
特記		
授業計画	1	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 練習モードの説明
	2	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 練習モードの練習
	3	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 練習モードの実践
	4	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 練習モードの振り返り
	5	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 本番モードの練習
	6	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 本番モードのテスト
	7	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 本番モードの振り返り
	8	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 練習モードの説明
	9	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 練習モードの練習
	10	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 練習モードの実践
	11	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 練習モードの振り返り
	12	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 本番モードの練習
	13	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 本番モードのテスト
	14	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 本番モードの振り返り
	15	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 練習モードの説明
	16	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 練習モードの練習
	17	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 練習モードの実践
	18	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 練習モードの振り返り
	19	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 本番モードの練習
	20	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 本番モードのテスト
	21	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 本番モードの振り返り
	22	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 練習モードの説明
	23	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 練習モードの練習
	24	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 練習モードの実践
	25	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 練習モードの振り返り
	26	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 本番モードの練習
	27	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 本番モードのテスト
	28	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 本番モードの振り返り
	29	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 練習モードの説明
	30	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 練習モードの練習
	31	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 練習モードの実践
	32	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 練習モードの振り返り
	33	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 本番モードの練習
	34	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 本番モードのテスト
	35	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 本番モードの振り返り
	36	MOS模擬テストWord2016 実力判定テストの実施
	37	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 練習モードの実践
	38	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 練習モードの振り返り
	39	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 本番モードのテスト
	40	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 本番モードの振り返り
	41	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 練習モードの実践
	42	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 練習モードの振り返り
	43	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 本番モードのテスト
	44	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 本番モードの振り返り
	45	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 練習モードの実践
	46	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 練習モードの振り返り
	47	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 本番モードのテスト
	48	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 本番モードの振り返り
	49	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 練習モードの実践
	50	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 練習モードの振り返り
	51	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 本番モードのテスト
	52	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 本番モードの振り返り
	53	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 練習モードの実践
	54	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 練習モードの振り返り
	55	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 本番モードのテスト
	56	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 本番モードの振り返り
	57	MOS模擬テストWord2016 実力判定テストの実施
	58	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 練習モードの実践
	59	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 本番モードのテスト
	60	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 練習・本番モードの振り返り
	61	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 練習モードの実践
	62	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 本番モードのテスト
	63	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 練習・本番モードの振り返り
	64	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 練習モードの実践
	65	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 本番モードのテスト
	66	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 練習・本番モードの振り返り
	67	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 練習モードの実践
	68	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 本番モードのテスト
	69	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 練習・本番モードの振り返り
	70	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 練習モードの実践
	71	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 本番モードのテスト
	72	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 練習・本番モードの振り返り
	73	MOS模擬テストWord2016 実力判定テストの実施
	74	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 本番モードのテスト
	75	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 本番モードのテスト
	76	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 本番モードのテスト
	77	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 本番モードのテスト
	78	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 本番モードのテスト
	79	MOS模擬テストWord2016 実力判定テストの実施
	80	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト1 本番モードのテスト
	81	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト2 本番モードのテスト
	82	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト3 本番モードのテスト
	83	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト4 本番モードのテスト
	84	MOS模擬テストWord2016 模擬テスト5 本番モードのテスト
	85	MOS模擬テストWord2016 実力判定テストの実施
	86	演習・復習日
	87	演習・復習日
	88	演習・復習日
	89	演習・復習日
	90	演習・復習日
成績評価方法(試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	パソコン実習VI
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	実習
授業時間	180時間(6単位)
授業コマ数	90コマ(1コマ90分)
授業概要	反復練習と効果測定により、MOS試験の合格に必要な知識とスキルを身に付ける
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	Excel: MOS Excel2016またはExcel2016エキスパートの合格を目指す
教科書	問題集
特記	
授業計画	1 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 練習モードの説明 2 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 練習モードの練習 3 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 練習モードの実践 4 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 練習モードの振り返り 5 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 本番モードの練習 6 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 本番モードのテスト 7 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 本番モードの振り返り 8 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 練習モードの説明 9 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 練習モードの練習 10 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 練習モードの実践 11 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 練習モードの振り返り 12 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 本番モードの練習 13 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 本番モードのテスト 14 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 本番モードの振り返り 15 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 練習モードの説明 16 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 練習モードの練習 17 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 練習モードの実践 18 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 練習モードの振り返り 19 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 本番モードの練習 20 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 本番モードのテスト 21 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 本番モードの振り返り 22 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 練習モードの説明 23 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 練習モードの練習 24 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 練習モードの実践 25 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 練習モードの振り返り 26 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 本番モードの練習 27 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 本番モードのテスト 28 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 本番モードの振り返り 29 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 練習モードの説明 30 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 練習モードの練習 31 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 練習モードの実践 32 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 練習モードの振り返り 33 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 本番モードの練習 34 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 本番モードのテスト 35 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 本番モードの振り返り 36 MOS模擬テストExcel2016 実力判定テストの実施 37 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 練習モードの実践 38 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 練習モードの振り返り 39 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 本番モードのテスト 40 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 本番モードの振り返り 41 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 練習モードの実践 42 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 練習モードの振り返り 43 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 本番モードのテスト 44 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 本番モードの振り返り 45 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 練習モードの実践 46 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 練習モードの振り返り 47 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 本番モードのテスト 48 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 本番モードの振り返り 49 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 練習モードの実践 50 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 練習モードの振り返り 51 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 本番モードのテスト 52 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 本番モードの振り返り 53 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 練習モードの実践 54 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 練習モードの振り返り 55 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 本番モードのテスト 56 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 本番モードの振り返り 57 MOS模擬テストExcel2016 実力判定テストの実施 58 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 練習モードの実践 59 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 本番モードのテスト 60 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 練習・本番モードの振り返り 61 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 練習モードの実践 62 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 本番モードのテスト 63 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 練習・本番モードの振り返り 64 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 練習モードの実践 65 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 本番モードのテスト 66 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 練習・本番モードの振り返り 67 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 練習モードの実践 68 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 本番モードのテスト 69 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 練習・本番モードの振り返り 70 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 練習モードの実践 71 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 本番モードのテスト 72 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 練習・本番モードの振り返り 73 MOS模擬テストExcel2016 実力判定テストの実施 74 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 本番モードのテスト 75 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 本番モードのテスト 76 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 本番モードのテスト 77 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 本番モードのテスト 78 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 本番モードのテスト 79 MOS模擬テストExcel2016 実力判定テストの実施 80 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト1 本番モードのテスト 81 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト2 本番モードのテスト 82 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト3 本番モードのテスト 83 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト4 本番モードのテスト 84 MOS模擬テストExcel2016 模擬テスト5 本番モードのテスト 85 MOS模擬テストExcel2016 実力判定テストの実施 86 演習・復習日 87 演習・復習日 88 演習・復習日 89 演習・復習日 90 演習・復習日
成績評価方法(試験実地方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	パソコン実習Ⅶ		
実務家教員			
学部・学科	スポーツ産業科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	専門科目 選択G		
授業方法	実習		
授業時間	120時間(4単位)		
授業コマ数	60コマ(1コマ90分)		
授業概要	反復練習と効果測定により、MOS試験の合格に必要な知識とスキルを身に着ける		
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る		
達成目標	PowerPoint : MOS PowerPoint2016またはPowerPoint2016 ^{英語版} の合格を目指す		
教科書	問題集		
特記			
授業計画	1	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 練習モードの説明	
	2	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 練習モードの練習	
	3	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 練習モードの実践	
	4	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 練習モードの振り返り	
	5	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 本番モードの練習	
	6	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 本番モードのテスト	
	7	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 本番モードの振り返り	
	8	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 練習モードの説明	
	9	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 練習モードの練習	
	10	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 練習モードの実践	
	11	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 練習モードの振り返り	
	12	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 本番モードの練習	
	13	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 本番モードのテスト	
	14	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 本番モードの振り返り	
	15	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 練習モードの説明	
	16	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 練習モードの練習	
	17	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 練習モードの実践	
	18	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 練習モードの振り返り	
	19	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 本番モードの練習	
	20	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 本番モードのテスト	
	21	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 本番モードの振り返り	
	22	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 練習モードの説明	
	23	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 練習モードの練習	
	24	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 練習モードの実践	
	25	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 練習モードの振り返り	
	26	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 本番モードの練習	
	27	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 本番モードのテスト	
	28	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 本番モードの振り返り	
	29	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 練習モードの説明	
	30	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 練習モードの練習	
	31	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 練習モードの実践	
	32	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 練習モードの振り返り	
	33	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 本番モードの練習	
	34	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 本番モードのテスト	
	35	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 本番モードの振り返り	
	36	MOS模擬テストPowerPoint2016 実力判定テストの実施	
	37	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 練習モードの実践	
	38	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 練習モードの振り返り	
	39	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 本番モードのテスト	
	40	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト1 本番モードの振り返り	
	41	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 練習モードの実践	
	42	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 練習モードの振り返り	
	43	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 本番モードのテスト	
	44	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト2 本番モードの振り返り	
	45	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 練習モードの実践	
	46	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 練習モードの振り返り	
	47	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 本番モードのテスト	
	48	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト3 本番モードの振り返り	
	49	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 練習モードの実践	
	50	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 練習モードの振り返り	
	51	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 本番モードのテスト	
	52	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト4 本番モードの振り返り	
	53	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 練習モードの実践	
	54	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 練習モードの振り返り	
	55	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 本番モードのテスト	
	56	MOS模擬テストPowerPoint2016 模擬テスト5 本番モードの振り返り	
	57	MOS模擬テストPowerPoint2016 実力判定テストの実施	
	58	演習・復習日	
	59	演習・復習日	
	60	演習・復習日	
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況		
備考			

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	事務職ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 選択G	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間(1単位)	
授業コマ数	15コマ(1コマ90分)	
授業概要	ビジネス電話対応、接客に関する実践的な学習をする	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	電話対応、接客に関する実践的な演習をし、習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	事務職の1日の流れ
	2~4	電話対応応用
	5~7	接客の流れ
	8~13	演習(ロールプレイング)
	14~15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	経理実務
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義(実務経験のある教員による授業科目です)
授業時間	60時間(2単位)
授業コマ数	30コマ(1コマ90分)
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、特に納税等で用いる帳票書類についての知識を習得するための講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールを理解し、特に所得税・住民税・社会保険料に関する基本的な理解ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 経理・総務の年間カリキュラム 2 小切手・手形の実務上のポイント 3 入出金伝票と現金出納帳 4 当座預金出納帳と手形記入帳 5 交際費、福利厚生費及び会議費用の区分 6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理① 7 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理② 8 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③ 9 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④ 10 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤ 11 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥ 12 源泉所得税(給与)の徴収・納付事務① 13 源泉所得税(給与)の徴収・納付事務② 14 源泉所得税(給与)の徴収・納付事務③ 15 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(基礎)① 16 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(基礎)② 17 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(基礎)③ 18 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(応用)① 19 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(応用)② 20 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(応用)③ 21 個人住民税の徴収及び納付① 22 個人住民税の徴収及び納付② 23 印紙税の基礎知識 24 受取利息の会計処理 25 消費税法の概要① 26 消費税法の概要② 27 消費税の会計処理 28 原則的な日々の記帳から決算までの流れ(記帳入門)① 29 原則的な日々の記帳から決算までの流れ(記帳入門)② 30 原則的な日々の記帳から決算までの流れ(記帳入門)③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	給与計算実務
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間（1単位）
授業コマ数	15コマ（1コマ90分）
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務を行うために必要な知識を習得する講義
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	所得税・住民税の納付税額を算定することができる 年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 所得税の基礎知識① 2 所得税の基礎知識② 3 所得税の基礎知識③ 4 年末調整のしかた① 5 年末調整のしかた② 6 年末調整のしかた③ 7 法定調書の流れ① 8 法定調書の流れ② 9 法定調書の流れ③ 10 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出① 11 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出② 12 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③ 13 労働保険の概要及び会計処理① 14 労働保険の概要及び会計処理② 15 労働保険の概要及び会計処理③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	財務会計
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義
授業時間	90時間 (3単位)
授業コマ数	45コマ (1コマ90分)
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度についての理解を深めるための講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 外貨建会計① 2 外貨建会計② 3 外貨建会計③ 4 外貨建会計④ 5 リース取引① 6 リース取引② 7 リース取引③ 8 リース取引④ 9 キャッシュ・フロー計算書① 10 キャッシュ・フロー計算書② 11 キャッシュ・フロー計算書③ 12 キャッシュ・フロー計算書④ 13 キャッシュ・フロー計算書⑤ 14 キャッシュ・フロー計算書⑥ 15 税効果会計① 16 税効果会計② 17 税効果会計③ 18 税効果会計④ 19 税効果会計⑤ 20 税効果会計⑥ 21 退職給付会計① 22 退職給付会計② 23 退職給付会計③ 24 退職給付会計④ 25 退職給付会計⑤ 26 消費税法① 27 消費税法② 28 消費税法③ 29 消費税法④ 30 消費税法⑤ 31 消費税法⑥ 32 消費税法⑦ 33 消費税法⑧ 34 消費税法⑨ 35 消費税法⑩ 36 法人税法① 37 法人税法② 38 法人税法③ 39 法人税法④ 40 法人税法⑤ 41 法人税法⑥ 42 法人税法⑦ 43 法人税法⑧ 44 法人税法⑨ 45 法人税法⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	販売仕入管理
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に関する知識を習得する講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	販売、仕入の事務手続きについて流れを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 売上事務の流れ 2 納品書の作成と売上計上① 3 納品書の作成と売上計上② 4 請求書の作成と代金回収管理① 5 請求書の作成と代金回収管理② 6 請求書の作成と代金回収管理③ 7 複数の得意先との取引① 8 複数の得意先との取引② 9 複数の得意先との取引③ 10 仕入事務の流れ 11 仕入管理の記帳① 12 仕入管理の記帳② 13 仕入代金の支払いと買掛金管理① 14 仕入代金の支払いと買掛金管理② 15 仕入代金の支払いと買掛金管理③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	時事	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 選択G	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ	
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	主要な時事の基本用語が理解できている 自ら時事に関する情報収集を行い、自分の考えや意見を伝えることができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	用語知識①
	2	用語知識②
	3	用語知識③
	4	用語知識④
	6	考え方①
	7	考え方②
	8	考え方③
	9	考え方④
	10	発表①
	11	発表②
	12	発表③
	13	個人研究①
	14	個人研究②
	15	個人研究③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	言語知識（英会話基礎） I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	外国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	基本的な英会話の習得
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 英語基礎① 2 Self Introductions 3 Basic Conversation and Responses 4 英語基礎② 5 Everyday Conversation 6 Expressing Feelings 7 英語基礎③ 8 Emotions, Reactions, and Wh- Questions 9 Daily Life 10 英語基礎④ 11 Daily Life 2: Hospitality 12 Daily Life 3: Telephoning 13 英語基礎⑤ 14 Responding to Foreign Visitors 15 Review
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	言語知識(中国語) I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	中国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	学習者の中国語への興味を深める上、中国や中国語についての知識を広げ、今後本格的な中国語学習のきっかけを作る。
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 中国語発音の基礎(1) 四つの声調・六つの基本母音・複合母音 2 中国語発音の基礎(2) 21の子音・鼻音・声調変化 3 中国語発音の基礎(3) 声調と変調・r化現象・発音のおさらい 4 簡単な日常挨拶(1) 人称代名詞・単数と複数・基本的語順・疑問語「吗」について 5 簡単な日常挨拶(2) 基本的語順(是or動詞を述語とする場合)・丁寧語について 6 数字を覚えよう 年,月,日,曜日の言い方・所属を表す「的」・疑問視「什么」 7 数字の活用 こんな時「是」は省略される・金額の言い方・否定を表す「不」時刻と時間の長さの言い方・副詞「也」・疑問詞「怎么样」 8 存在・所有の表現 動詞「有」・否定「没有」・「什么」+名詞 9 場所の表現 場所指示代名詞「这里」「那里」「哪里」・前置詞構造「在」 10 買い物をする/値段を聞く&値段交渉する 人民元の数え方・能願動詞「要」「能」「会」「可以」・語気助詞「了」 11 乗り換えと両替 「必要・なければならない」を表す「要」・完了を表す「了」・動詞重ね型「看々」 12 電話をする→「是～的」の構文・結果補語約束する→ある経験を表す文型「動詞+过～」・まだ～していない「还没(有)～」 13 確認する→もうすぐ～「要～了」・前置詞「从」「离」・選択疑問文「～、还是～」 14 お客様の出迎え&歓迎会 連体修飾語としての動詞, 動詞構造, 主述構造・程度補語「得」 15 別れを告げる&総復習 仮説を表す「～的话」, 「要是～就～」・これまで習ってきた内容を総復習する
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	言語知識(韓国語) I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	韓国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	1. 読み書きができる。 2. 以下の簡単な会話ができる ①挨拶&自己紹介 ②買い物でのやりとり ③店での注文 ④道などを尋ねる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 オリエンテーション;韓国語に関する豆知識 基本母音 2 基本子音①説明&子音「K」 復習と会話 3 小テスト 基本子音②-「N」&「T」&「R」 基本子音③-「M」&「P」&「S」 4 復習と会話 基本子音④-「J」&「H」+まとめ 5 小テスト 激音①-「Ch」&「Kh」 復習と会話 6 激音②-「Th」&「Ph」+まとめ 濃音①-「KK」&「TT」&「PP」 7 小テスト 復習と会話 濃音②-「SS」&「JJ」+まとめ 8 パッチム① [P20の説明、P23N] 復習と会話 9 小テスト パッチム② [P20K、P21B] パッチム③ [P22M、P21NG] 10 復習と会話 パッチム④ [P23L、P22T] +まとめ 11 小テスト 合成母音① [P25&26の説明] 復習と会話 12 合成母音② [P27、28] <1課>私は日本人です。 13 小テスト 宿題チェック <1課>私は日本人です。 14 まとめ <1課>宿題チェック/総復習 15 最終到達度確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	マーケティング概要
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 顧客満足① 2 顧客満足② 3 マーケティングの必要性① 4 マーケティングの必要性② 5 情報収集と分析① 6 情報収集と分析② 7 流通チャネル① 8 流通チャネル② 9 プロモーション① 10 プロモーション② 11 財務知識① 12 財務知識② 13 事例研究① 14 事例研究② 15 事例研究③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	マーケティング基礎
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	講義
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 店舗データの理解① 2 店舗データの理解② 3 マーケティングの流れ① 4 マーケティングの流れ② 5 売上構成分析① 6 売上構成分析② 7 来店客分析① 8 来店客分析② 9 商品分析① 10 商品分析② 11 費用分析① 12 費用分析② 13 課題抽出① 14 課題抽出② 15 アンケート調査分析① 16 アンケート調査分析② 17 企画作成① 18 企画作成② 19 企画作成③ 20 企画作成④ 21 様々なマーケティング① 22 様々なマーケティング② 23 プレ卒業研究① 24 プレ卒業研究② 25 プレ卒業研究③ 26 プレ卒業研究④ 27 プレ卒業研究⑤ 28 プレ卒業研究⑥ 29 プレ卒業研究⑦ 30 プレ卒業研究⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	販売職ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	専門科目 選択G	
授業方法	実習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ	
授業概要	接客に関する実践的な学習をする	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	接客に関する実践的な演習を通じて、習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1 接客販売、営業マナーとは① 2 接客販売、営業マナーとは② 3 接客販売、営業マナーとは③ 4 接客販売の心得① 5 接客販売の心得② 6 接客販売の心得③ 7 お客様の心理① 8 お客様の心理② 9 お客様の心理③ 10 店内接客の基本① 11 店内接客の基本② 12 店内接客の基本③ 13 演習① 14 演習② 15 演習③ 16 営業の心得① 17 営業の心得② 18 営業の心得③ 19 営業の心得④ 20 訪問の流れ① 21 訪問の流れ② 22 訪問の流れ③ 23 訪問の流れ④ 24 演習① 25 演習② 26 演習③ 27 商談の進め方① 28 商談の進め方② 29 商談の進め方③ 30 商談の進め方④	31 商品説明① 32 商品説明② 33 商品説明③ 34 商品説明④ 35 商品説明⑤ 36 演習① 37 演習② 38 演習③ 39 演習④ 40 総合演習① 41 総合演習② 42 総合演習③ 43 効果測定① 44 効果測定② 45 効果測定③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	プレゼンテーション
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	専門科目 選択G
授業方法	実習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ
授業概要	企画から発表までの一連の流れ
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る
達成目標	プレゼンテーションに必要な要素の理解、演習
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 プレゼンテーションとは何か 2 プレゼンテーションの種類 3 企画① 4 企画② 5 企画③ 6 情報収集① 7 情報収集② 8 情報収集③ 9 シナリオ作成① 10 シナリオ作成② 11 シナリオ作成③ 12 コンテンツ作成① 13 コンテンツ作成② 14 話し方 15 発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容		
授業科目	卒業研究		
実務家教員			
学部・学科	スポーツ産業科		
履修年次	2年次		
開講学期	後期		
科目区分	専門科目 選択G		
授業方法	講義・実習		
授業時間	180時間		
授業コマ数	90コマ		
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する		
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る		
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する		
教科書	テキスト及び参考書		
特記			
授業計画	1 業界分析① 2 情報収集① 3 店舗分析① 4 店舗見学① 5 課題抽出① 6 仮説① 7 調査・検証① 8 業界分析② 9 情報収集② 10 店舗分析② 11 店舗見学② 12 課題抽出② 13 仮説② 14 調査・検証② 15 業界分析③ 16 情報収集③ 17 店舗分析③ 18 店舗見学③ 19 課題抽出③ 20 仮説③ 21 調査・検証③ 22 業界分析④ 23 情報収集④ 24 店舗分析④ 25 店舗見学④ 26 課題抽出④ 27 仮説④ 28 調査・検証④ 29 業界分析⑤ 30 情報収集⑤	31 店舗分析⑤ 32 店舗見学⑤ 33 課題抽出⑤ 34 仮説⑤ 35 調査・検証⑤ 36 業界分析⑥ 37 情報収集⑥ 38 店舗分析⑥ 39 店舗見学⑥ 40 課題抽出⑥ 41 仮説⑥ 42 調査・検証⑥ 43 業界分析⑦ 44 情報収集⑦ 45 店舗分析⑦ 46 店舗見学⑦ 47 課題抽出⑦ 48 仮説⑥⑦ 49 調査・検証⑦ 50 業界分析⑧ 51 情報収集⑧ 52 店舗分析⑧ 53 店舗見学⑧ 54 課題抽出⑧ 55 仮説⑧ 56 調査・検証⑧ 57 業界分析⑨ 58 情報収集⑨ 59 店舗分析⑨ 60 店舗見学⑨	61 仮説⑨ 62 調査・検証⑨ 63 業界分析⑩ 64 情報収集⑩ 65 店舗分析⑩ 66 店舗見学⑩ 67 課題抽出⑩ 68 仮説⑩ 69 調査・検証⑩ 70 企画案作成⑩ 71 中間発表① 72 中間発表② 73 中間発表③ 74 中間発表④ 75 中間発表⑤ 76 再検証① 77 再検証② 78 再検証③ 79 再検証④ 80 再検証⑤ 81 最終発表① 82 最終発表② 83 最終発表③ 84 最終発表④ 85 最終発表⑤ 86 代表によるコンテスト① 87 代表によるコンテスト② 88 代表によるコンテスト③ 89 代表によるコンテスト④ 90 代表によるコンテスト⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況		
備考			

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																				
授業科目	実践数的Ⅱ 判断推理																				
実務家教員																					
学部・学科	スポーツ産業科																				
履修年次	2年次																				
開講学期	前期																				
科目区分	選択H																				
授業方法	講義																				
授業時間	20時間																				
授業コマ数	10コマ(1コマ120分)																				
授業概要	論理的な思考を基に、文章問題を解答する																				
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習																				
達成目標	数学的な基礎知識と論理的な思考力を短期間で習得する																				
教科書	オリジナルテキスト																				
特記																					
授業計画	<table border="1"> <tr><td>1</td><td>論理</td></tr> <tr><td>2</td><td>集合の要素の個数</td></tr> <tr><td>3</td><td>順序(順序の決定)</td></tr> <tr><td>4</td><td>順序(順序の変動、順序の数値条件)</td></tr> <tr><td>5</td><td>対応(対応関係)</td></tr> <tr><td>6</td><td>対応(対応の数値条件、スケジュール)</td></tr> <tr><td>7</td><td>位置と方位(位置)</td></tr> <tr><td>8</td><td>勝ち負け、カード・ゲーム</td></tr> <tr><td>9</td><td>ウソの発言、推理・手順</td></tr> <tr><td>10</td><td>暗号、家系図</td></tr> </table>	1	論理	2	集合の要素の個数	3	順序(順序の決定)	4	順序(順序の変動、順序の数値条件)	5	対応(対応関係)	6	対応(対応の数値条件、スケジュール)	7	位置と方位(位置)	8	勝ち負け、カード・ゲーム	9	ウソの発言、推理・手順	10	暗号、家系図
1	論理																				
2	集合の要素の個数																				
3	順序(順序の決定)																				
4	順序(順序の変動、順序の数値条件)																				
5	対応(対応関係)																				
6	対応(対応の数値条件、スケジュール)																				
7	位置と方位(位置)																				
8	勝ち負け、カード・ゲーム																				
9	ウソの発言、推理・手順																				
10	暗号、家系図																				
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 10題の基礎的な解答力を測定する試験																				
備考																					

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践数的Ⅲ 空間把握・資料解釈	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	講義	
授業時間	24時間	
授業コマ数	12コマ(1コマ120分)	
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	立体でも平面でも捉えられる力と、資料を読み解く力を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	折り紙、回転の軌跡
	2	正多面体、展開図
	3	平面図形の構成、サイコロ、見取り図と投影図、積木
	4	積木、立体の切断、回転体
	5	一筆書き、平面図形の計量(平方根の計算、三平方の定理)
	6	平面図形の計量(三平方の定理、相似比、中点連結定理)
	7	平面図形の計量(底辺分割定理、相似比と面積比)
	8	平面図形の計量(角度、円周角の定理、接弦定理、円の接線の長さ)
	9	平面図形の計量(内接円、円弧の長さ)、資料解釈(実数・割合)
	10	平面図形の計量(扇形の面積)、資料解釈(構成比)
	11	立体図形の計量(立体の体積、回転体の体積)、資料解釈(指数)
	12	立体図形の計量(断面積、表面積、体積比)、資料解釈(増加率)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 10題の基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践社会科学 I 政治
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択H
授業方法	講義
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ(1コマ120分)
授業概要	基本的人権など憲法の基礎知識から本試験レベルの実践的知識まで学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な憲法の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 政治の基本理念、国家論 2 政治制度論 3 基本的人権総論、包括的基本権 4 自由権 5 社会権 6 国会の機構と運営 7 内閣の機構と運営 8 裁判所の機構と運営 9 地方自治 10 選挙制度
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践社会科学Ⅱ 経済	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	講義	
授業時間	24時間	
授業コマ数	12コマ(1コマ120分)	
授業概要	財政政策・外国為替などの経済分野と労働問題などの社会分野の基礎知識と本試験レベルの実践的知識までを学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な経済と社会の知識を短時間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	経済社会の変容、現代の企業
	2	現代の市場
	3	国民所得
	4	経済成長と景気循環
	5	通貨制度と金融政策
	6	財政制度と財政政策
	7	貿易と外国為替
	8	日本経済の動向
	9	国際経済の動向
	10	社会理論、労働問題
	11	社会保障、環境問題
	12	国際関係、現代の諸相
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践人文科学 I 地理	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業コマ数	10コマ(1コマ120分)	
授業概要	気候や各国の産業などの基礎知識と本試験レベルの実践的知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な地理の知識を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	世界の地形
	2	世界の気候
	3	世界の農業
	4	世界の資源
	5	世界の工業
	6	地図の特色と利用
	7	生活と地域
	8	日本地誌
	9	世界地誌(アジア、アフリカ)
	10	世界地誌(ヨーロッパ、南北アメリカ、オセアニア)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践人文科学Ⅱ 歴史	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)	
授業概要	大和政権から昭和までの日本史と中国の歴史を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な日本および中国の歴史の知識を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	大和政権と大化の改新
	2	平安時代
	3	鎌倉時代
	4	室町時代
	5	封建社会の確立
	6	江戸時代(武断政治、文治政治、三大改革)
	7	江戸時代(幕末)、明治維新
	8	立憲体制の確立
	9	近代文化の発展
	10	大正、昭和
	11	中国史1(殷～漢)
	12	中国史2(魏晋南北朝～隋、唐)
	13	中国史3(宋、元)
	14	中国史4(明、清)
	15	中国史5(清の崩壊、中華民国)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践言語 I 文理・国語	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	講義	
授業時間	15時間	
授業コマ数	8コマ(1コマ120分) ※8コマ目のみ60分	
授業概要	文章読解と本試験レベルの実践的な国語を並行して進める	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会人として求められる読解力と国語力を短期間で身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	要旨把握①、四字熟語①
	2	要旨把握②、四字熟語②
	3	内容合致①、ことわざ①
	4	内容合致②、ことわざ②
	5	文章整除①、文法基礎①
	6	文章整除②、文法基礎②
	7	文章の穴埋め①、敬語①
	8	文章の穴埋め②、敬語②
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践演習 I 数的処理	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	演習	
授業時間	24時間	
授業コマ数	12コマ(1コマ120分)	
授業概要	基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	方程式・不等式・整数・計算パズル
	2	割合と比
	3	速さ・仕事算
	4	場合の数・確率
	5	論理・集合と要素の個数
	6	順序・対応
	7	位置と方位・勝ち負け・カード・ウソの発言
	8	推理・手順・暗号・家系図
	9	折り紙・回転の軌跡・正多面体・展開図・平面図形の構成
	10	サイコロ・見取り図と投影図・積木・立体の切断・回転体・一筆書き
	11	平面図形の計量
	12	立体図形の計量・資料解釈
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践演習Ⅱ 社会科学	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	演習	
授業時間	28時間	
授業コマ数	14コマ(1コマ120分)	
授業概要	政治・経済の基礎知識から実践的知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	社会科学分野におけるより幅広い知識の定着	
教科書	スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	政治の基本理念、政治制度論
	2	基本的人権①
	3	基本的人権②
	4	国会の機構と運営
	5	内閣の機構と運営
	6	裁判所の機構と運営
	7	地方自治、選挙制度
	8	現代の企業、現代の市場
	9	国民所得
	10	通貨制度と金融政策
	11	財政制度と財政政策
	12	貿易と外国為替
	13	社会総合①
	14	社会総合②
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 100問の知識習得状況を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践演習Ⅲ 人文科学	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	演習	
授業時間	24時間	
授業コマ数	12コマ(1コマ120分)	
授業概要	地理・歴史・倫理の実践的知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	人文科学分野におけるより幅広い知識の定着	
教科書	スタンダード問題集・オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	日本史(原始、古代)
	2	日本史(中世、近世①)
	3	日本史(近世②、近代①)
	4	日本史(近代②、現代・通史)
	5	地理(自然環境と地図)
	6	地理(資源と産業、生活と地域)
	7	地理(日本の地理)
	8	地理(世界の地理)
	9	世界史(東洋世界)
	10	世界史(現代世界)
	11	倫理(西洋思想)
	12	倫理(東洋思想)
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% ○×50題の基本的な知識を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践答案練習 I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	演習	
授業時間	48時間	
授業コマ数	24コマ(1コマ120分)	
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する	
達成目標	第20回目以降の模擬試験で全問題の半数以上の正解を目標とする	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	基礎的なレベルの模擬試験①
	2	基礎的なレベルの模擬試験②
	3	基礎的なレベルの模擬試験③
	4	基礎的なレベルの模擬試験④
	5	基礎的なレベルの模擬試験⑤
	6	基礎的なレベルの模擬試験⑥
	7	基礎的なレベルの模擬試験⑦
	8	基礎的なレベルの模擬試験⑧
	9	基礎的なレベルの模擬試験⑨
	10	基礎的なレベルの模擬試験⑩
	11	基礎的なレベルの模擬試験⑪
	12	基礎的なレベルの模擬試験⑫
	13	基礎的なレベルの模擬試験⑬
	14	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑭
	15	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑮
	16	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑯
	17	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑰
	18	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑱
	19	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑲
	20	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑳
	21	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験㉑
	22	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験㉒
	23	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験㉓
	24	基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験㉔
成績評価方法 (試験実施方法)	第1回から第19回までは模擬試験の取り組み姿勢、第20回から第24回までは模擬試験成績にて評価	
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程により入れ替えることがある	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択H
授業方法	演習
授業時間	108時間
授業コマ数	54コマ(1コマ120分)
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	1 国家公務員タイプの模擬試験① 2 模擬試験①の解説 3 国家公務員タイプの模擬試験② 4 模擬試験②の解説 5 国家公務員タイプの模擬試験③ 6 模擬試験③の解説 7 国家公務員タイプの模擬試験④ 8 模擬試験④の解説 9 国家公務員タイプの模擬試験⑤ 10 模擬試験⑤の解説 11 国家公務員タイプの模擬試験⑥ 12 模擬試験⑥の解説 13 国家公務員タイプの模擬試験⑦ 14 模擬試験⑦の解説 15 国家公務員タイプの模擬試験⑧ 16 模擬試験⑧の解説 17 国家公務員タイプの模擬試験⑨ 18 模擬試験⑨の解説 19 国家公務員タイプの模擬試験⑩ 20 模擬試験⑩の解説 21 国家公務員タイプの模擬試験⑪ 22 模擬試験⑪の解説 23 国家公務員タイプの模擬試験⑫ 24 模擬試験⑫の解説 25 国家公務員タイプの模擬試験⑬ 26 模擬試験⑬の解説 27 地方公務員タイプの模擬試験① 28 模擬試験①の解説 29 地方公務員タイプの模擬試験② 30 模擬試験②の解説 31 地方公務員タイプの模擬試験③ 32 模擬試験③の解説 33 地方公務員タイプの模擬試験④ 34 模擬試験④の解説 35 地方公務員タイプの模擬試験⑤ 36 模擬試験⑤の解説 37 地方公務員タイプの模擬試験⑥ 38 模擬試験⑥の解説 39 地方公務員タイプの模擬試験⑦ 40 模擬試験⑦の解説 41 地方公務員タイプの模擬試験⑧ 42 模擬試験⑧の解説 43 地方公務員タイプの模擬試験⑨ 44 模擬試験⑨の解説 45 地方公務員タイプの模擬試験⑩ 46 模擬試験⑩の解説 47 地方公務員タイプの模擬試験⑪ 48 模擬試験⑪の解説 49 地方公務員タイプの模擬試験⑫ 50 模擬試験⑫の解説 51 地方公務員タイプの模擬試験⑬ 52 模擬試験⑬の解説 53 地方公務員タイプの模擬試験⑭ 54 模擬試験⑭の解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程により入れ替えることがある

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	公務員時事対策	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)	
授業概要	自然科学から国際問題まで幅広いジャンルの社会時事を学ぶ	
授業の進め方	重要な時事ワードを軸にその内容を解説し、問題演習まで行う	
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	時事(政治①)
	2	時事(政治②)
	3	時事(政治③)
	4	時事(経済①)
	5	時事(経済②)
	6	時事(文化①)
	7	時事(文化②)
	8	時事(文化③)
	9	時事(科学①)
	10	時事(科学②)
	11	時事(科学③)
	12	時事(科学④)
	13	時事(科学⑤)
	14	時事(国際問題①)
	15	時事(国際問題②)
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	公務員適性検査演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択H	
授業方法	演習	
授業時間	40時間	
授業コマ数	20コマ(1コマ120分)	
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト・実戦問題集・模擬試験	
特記		
授業計画	1	適性試験パターンⅠの解答方法
	2	適性試験パターンⅠの練習
	3	適性試験パターンⅡの解答方法
	4	適性試験パターンⅡの練習
	5	適性試験パターンⅢの解答方法
	6	適性試験パターンⅢの練習
	7	適性試験練習①
	8	適性試験練習②
	9	適性試験練習③
	10	適性試験練習④
	11	適性試験練習⑤
	12	適性試験練習⑥
	13	模擬試験(適性試験)①
	14	模擬試験(適性試験)②
	15	模擬試験(適性試験)③
	16	模擬試験(適性試験)④
	17	模擬試験(適性試験)⑤
	18	模擬試験(適性試験)⑥
	19	模擬試験(適性試験)⑦
	20	模擬試験(適性試験)⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公務員教養論作文対策
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択H
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	公務員教養論作文試験対策のレクチャーおよび実践練習を行う
授業の進め方	レクチャーの後、テーマを与え実践し提出、必要に応じ添削を行う
達成目標	時間内に正しい文章構成で分かりやすい文章を作成する能力を身に付ける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 論作文の書き方と正しい用紙の使い方 2 試験種別作文テーマの傾向 3 基本テーマによる論作文 4 添削および返却答案の修正 5 模範論作文の研究 6 論作文練習① 7 論作文練習② 8 論作文練習③ 9 論作文練習④ 10 論作文練習⑤ 11 論作文練習⑥ 12 論作文練習⑦ 13 論作文練習⑧ 14 論作文練習⑨ 15 論作文練習⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、提出した論作文の完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践数的IV 数的総合
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択 I
授業方法	演習
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ(1コマ120分)
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	数的推理の基礎知識を定着させる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 方程式(方程式) 2 方程式(不等式)(過不足算) 3 方程式(平均算)(年齢算) 4 整数・計算パズル(約数と倍数) 5 整数・計算パズル(割り算の余り、整数の性質、カレンダー) 6 整数・計算パズル(数列、魔方陣) 7 整数・計算パズル(虫食算、覆面算、n進法) 8 割合と比(割合) 9 割合と比(比) 10 割合と比(売買算) 11 割合と比(濃度) 12 速さ(速さ) 13 速さ(旅人算、通過算) 14 速さ(流水算、時計算) 15 仕事算(仕事算) 16 仕事算(給排水算、ニュートン算) 17 場合の数(場合の数、順列) 18 場合の数(組合せ、道順) 19 確率(事象と確率、赤玉白玉) 20 確率(赤玉白玉、くじ引き、サイコロ、コイン)
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	実践自然科学Ⅰ 生物・地学
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ⅰ
授業方法	講義
授業時間	28時間
授業コマ数	14コマ(1コマ120分)
授業概要	生体から自然環境までの生物分野、地球の内部構造から宇宙までの地学分野を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	一般教養として必要な生物・地学の知識を短期間で習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 生体の構造 2 生体内の代謝 3 生殖と発生 4 遺伝と変異 5 刺激の受容と反応 6 内部環境の恒常性と調節 7 生物の集団 8 生物の進化と系統 9 地球の姿と動く大地 10 岩石 11 大気と海洋Ⅰ 12 大気と海洋Ⅱ 13 太陽系と宇宙の構造Ⅰ 14 太陽系と宇宙の構造Ⅱ、地球と人類
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基本的な知識を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践自然科学Ⅱ 物理・化学	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	講義	
授業時間	28時間	
授業コマ数	14コマ(1コマ120分)	
授業概要	物理分野は基本的な公式を覚え、運動・熱・電気などの仕組みを学び、化学分野は物質の仕組みや物質の変化を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な物理・化学の知識を短期間で習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	運動の表現
	2	力
	3	運動方程式
	4	エネルギー
	5	運動量、熱
	6	波動、原子
	7	電気
	8	物質の構造 1
	9	物質の構造 2
	10	物質の状態 1
	11	物質の状態 2
	12	物質の変化 1
	13	物質の変化 2
	14	無機化合物
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 基礎的な解答力を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践演習Ⅳ 自然科学	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	演習	
授業時間	15時間	
授業コマ数	8コマ(1コマ120分) ※8コマ目のみ60分	
授業概要	生物・地学の基礎知識をアウトプットすることで知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	一般教養として必要な自然科学分野の基礎知識の定着	
教科書	スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	生体の構造、生体内の代謝
	2	生殖と発生、遺伝と変異
	3	刺激の受容と反応
	4	内部環境の恒常性と調整
	5	生物の集団、生物の進化と系統
	6	地球の姿と動く大地・岩石
	7	大気と海洋、太陽系と宇宙の構造
	8	地球と人類
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 100問の知識習得状況を測定する試験	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	実践答案練習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	演習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ(1コマ120分)	
授業概要	模擬試験を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する	
達成目標	実践的な問題を含む50題の模擬試験で30点以上を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験① 2 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験② 3 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験③ 4 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験④ 5 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑤ 6 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑥ 7 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑦ 8 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑧ 9 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑨ 10 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑩ 11 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑪ 12 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑫ 13 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑬ 14 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑭ 15 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑮ 16 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑯ 17 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑰ 18 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑱ 19 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験⑲ 20 国家公務員タイプの模擬試験① 21 国家公務員タイプの模擬試験② 22 国家公務員タイプの模擬試験③ 23 国家公務員タイプの模擬試験④ 24 国家公務員タイプの模擬試験⑤ 25 国家公務員タイプの模擬試験⑥ 26 国家公務員タイプの模擬試験⑦ 27 国家公務員タイプの模擬試験⑧ 28 国家公務員タイプの模擬試験⑨ 29 国家公務員タイプの模擬試験⑩ 30 国家公務員タイプの模擬試験⑪	31 国家公務員タイプの模擬試験⑫ 32 国家公務員タイプの模擬試験⑬ 33 地方公務員タイプの模擬試験① 34 地方公務員タイプの模擬試験② 35 地方公務員タイプの模擬試験③ 36 地方公務員タイプの模擬試験④ 37 地方公務員タイプの模擬試験⑤ 38 地方公務員タイプの模擬試験⑥ 39 地方公務員タイプの模擬試験⑦ 40 地方公務員タイプの模擬試験⑧ 41 地方公務員タイプの模擬試験⑨ 42 地方公務員タイプの模擬試験⑩ 43 地方公務員タイプの模擬試験⑪ 44 地方公務員タイプの模擬試験⑫ 45 地方公務員タイプの模擬試験⑬
成績評価方法(試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程により入れ替えることがある	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	直前答案練習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	演習	
授業時間	102時間	
授業コマ数	51コマ(1コマ120分)	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1 本試験レベルの模擬試験① 2 模擬試験①の解説 3 本試験レベルの模擬試験② 4 模擬試験②の解説 5 本試験レベルの模擬試験③ 6 模擬試験③の解説 7 本試験レベルの模擬試験④ 8 模擬試験④の解説 9 本試験レベルの模擬試験⑤ 10 模擬試験⑤の解説 11 本試験レベルの模擬試験⑥ 12 模擬試験⑥の解説 13 本試験レベルの模擬試験⑦ 14 模擬試験⑦の解説 15 本試験レベルの模擬試験⑧ 16 模擬試験⑧の解説 17 本試験レベルの模擬試験⑨ 18 模擬試験⑨の解説 19 本試験レベルの模擬試験⑩ 20 模擬試験⑩の解説 21 本試験レベルの模擬試験⑪ 22 模擬試験⑪の解説 23 本試験レベルの模擬試験⑫ 24 模擬試験⑫の解説 25 本試験レベルの模擬試験⑬ 26 模擬試験⑬の解説 27 本試験レベルの模擬試験⑭ 28 模擬試験⑭の解説 29 本試験レベルの模擬試験⑮ 30 模擬試験⑮の解説	31 本試験レベルの模擬試験⑯ 32 模擬試験⑯の解説 33 本試験レベルの模擬試験⑰ 34 模擬試験⑰の解説 35 本試験レベルの模擬試験⑱ 36 模擬試験⑱の解説 37 本試験レベルの模擬試験⑲ 38 模擬試験⑲の解説 39 本試験レベルの模擬試験⑳ 40 模擬試験⑳の解説 41 本試験レベルの模擬試験㉑ 42 模擬試験㉑の解説 43 本試験レベルの模擬試験㉒ 44 模擬試験㉒の解説 45 本試験レベルの模擬試験㉓ 46 模擬試験㉓の解説 47 本試験レベルの模擬試験㉔ 48 模擬試験㉔の解説 49 本試験レベルの模擬試験㉕ 50 模擬試験㉕の解説 51 模擬試験(過去問題)
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価	
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程により入れ替えることがある	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	直前答案練習Ⅲ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ⅰ
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する
教科書	模擬試験
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 地方公務員試験タイプの模擬試験① 2 模擬試験①の解説 3 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験① 4 模擬試験①の解説 5 地方公務員タイプの模擬試験② 6 模擬試験②の解説 7 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験② 8 模擬試験②の解説 9 地方公務員タイプの模擬試験③ 10 模擬試験③の解説 11 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験③ 12 模擬試験③の解説 13 地方公務員タイプの模擬試験④ 14 模擬試験④の解説 15 基礎的なレベル(一部応用レベルを含む)の模擬試験④
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	模擬試験の実施順序は本試験日程により入れ替えることがある

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	憲法
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択 I
授業方法	講義
授業時間	40時間
授業コマ数	20コマ(1コマ120分)
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 憲法総論 2 基本的人権総論 3 包括的基本権 4 法の下での平等 5 思想良心の自由、信教の自由 6 信教の自由、表現の自由 7 表現の自由 8 表現の自由、学問の自由 9 職業選択の自由 10 財産権 11 人身の自由、社会権 12 社会権、参政権、受益権 13 国会 14 内閣、裁判所 15 裁判所 16 財政、地方自治、憲法改正、天皇、平和主義 17 総合演習 1 18 総合演習 2 19 総合演習 3 20 総合演習 4
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	民法
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択 I
授業方法	講義
授業時間	68時間
授業コマ数	32コマ(1コマ120分)
授業概要	総則や物権、債権など民法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な民法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 権利能力、意思能力と行為能力 2 無効・取消し 3 意思の不存在、瑕疵ある意思表示 4 代理権 5 代理行為、無権代理 6 無権代理と相続、表見代理 7 時効総説、時効の完成猶予・更新 8 取得時効、消滅時効、物権の効力 9 物権変動の一般理論、177条(対抗要件主義) 10 物権変動と登記の要否 11 即時取得制度、占有の効力 12 共有、地役権 13 担保物権総論、留置権 14 抵当権 15 復代理、質権 16 法定地上権、譲渡担保 17 債務不履行、債務不履行に基づく損害賠償 18 債権者代位権 19 詐害行為取消権(債権者取消権) 20 連帯債務、保証債務 21 債権譲渡 22 弁済、相殺 23 契約の効力(双務契約の特則)、契約の解除 24 売買(1) 25 売買(2) 26 賃貸借 27 不当利得 28 不法行為 29 婚姻、親子関係 30 相続、遺留分 31 弁済の提供、受領遅滞、解除の効果 32 贈与、請負、委任
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100%
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	行政法
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択 I
授業方法	講義
授業時間	38時間
授業コマ数	19コマ(1コマ120分)
授業概要	行政作用法、行政救済法および行政組織法について行政法の基礎知識を学ぶ
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公務に必要な行政法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 行政法の一般的な法理論 2 行政法上の法律関係、行政行為の意義・分類 3 行政行為の効力・瑕疵 4 行政行為の裁量、行政行為の成立・消滅 5 行政行為の附款、行政強制 6 行政罰、行政調査 7 行政契約、行政計画、行政指導 8 行政立法、行政手続法 9 行政手続法、手続の瑕疵 10 行政機関情報公開法 11 行政救済法一般、行政不服審査法 12 行政不服審査法 13 行政事件訴訟法(取消訴訟) 14 行政事件訴訟法(取消訴訟) 15 行政事件訴訟法(その他抗告訴訟) 16 国家賠償法 17 国家賠償法、損失補償、国家補償の谷間の問題 18 行政組織法、地方自治法 19 地方自治法、総合演習
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験100% 20題の基礎的な解答力を測定する試験
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容																																													
授業科目	公務員時事研究																																													
実務家教員																																														
学部・学科	スポーツ産業科																																													
履修年次	2年次																																													
開講学期	後期																																													
科目区分	選択 I																																													
授業方法	演習																																													
授業時間	30時間																																													
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)																																													
授業概要	就職先に関連する社会的ニュースを考察する																																													
授業の進め方	新聞やインターネットの情報を取得し、調査の上で意見・感想をまとめる																																													
達成目標	就職先およびその業務に関わる知識を身につける																																													
教科書	なし																																													
特記																																														
授業計画	<table border="1"> <tbody> <tr><td>1</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ1</td></tr> <tr><td>2</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ2</td></tr> <tr><td>3</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ3</td></tr> <tr><td>4</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ4</td></tr> <tr><td>5</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ5</td></tr> <tr><td>6</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ6</td></tr> <tr><td>7</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ7</td></tr> <tr><td>8</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ8</td></tr> <tr><td>9</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ9</td></tr> <tr><td>10</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ10</td></tr> <tr><td>11</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ11</td></tr> <tr><td>12</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ12</td></tr> <tr><td>13</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ13</td></tr> <tr><td>14</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ14</td></tr> <tr><td>15</td><td>情報収集と考察</td><td>テーマ15</td></tr> </tbody> </table>	1	情報収集と考察	テーマ1	2	情報収集と考察	テーマ2	3	情報収集と考察	テーマ3	4	情報収集と考察	テーマ4	5	情報収集と考察	テーマ5	6	情報収集と考察	テーマ6	7	情報収集と考察	テーマ7	8	情報収集と考察	テーマ8	9	情報収集と考察	テーマ9	10	情報収集と考察	テーマ10	11	情報収集と考察	テーマ11	12	情報収集と考察	テーマ12	13	情報収集と考察	テーマ13	14	情報収集と考察	テーマ14	15	情報収集と考察	テーマ15
1	情報収集と考察	テーマ1																																												
2	情報収集と考察	テーマ2																																												
3	情報収集と考察	テーマ3																																												
4	情報収集と考察	テーマ4																																												
5	情報収集と考察	テーマ5																																												
6	情報収集と考察	テーマ6																																												
7	情報収集と考察	テーマ7																																												
8	情報収集と考察	テーマ8																																												
9	情報収集と考察	テーマ9																																												
10	情報収集と考察	テーマ10																																												
11	情報収集と考察	テーマ11																																												
12	情報収集と考察	テーマ12																																												
13	情報収集と考察	テーマ13																																												
14	情報収集と考察	テーマ14																																												
15	情報収集と考察	テーマ15																																												
成績評価方法 (試験実施方法)	レポート100% 提出物の成果を評価																																													
備考																																														

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザイン I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択 I
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う
達成目標	面接時の入退室及び自己PRが出来るようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 面接の基本 2 入退室の仕方、身嗜みチェック 3 初級面接効果測定 4 自己分析① 5 自己分析② 6 自己分析③ 7 面接質問項目① 8 面接質問項目② 9 面接質問項目③ 10 志望動機① 11 志望動機② 12 志望動機③ 13 面接カードの作成 14 中級面接効果測定 15 模擬面接試験の検証
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	キャリアデザインⅡ
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択Ⅰ
授業方法	演習
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)
授業概要	面接試験に向けての準備作業や集団・個人での実践練習を行う
授業の進め方	前半は座学中心になるが、後半は本番形式の模擬面接を実施する
達成目標	自然な会話の中で好印象を与え、自分らしさを表現できる
教科書	なし
特記	
授業計画	1 エントリーシート・面接カード作成① 2 エントリーシート・面接カード作成② 3 エントリーシート・面接カード作成③ 4 エントリーシート・面接カード作成④ 5 エントリーシート・面接カード作成⑤ 6 職種研究① 7 職種研究② 8 職種研究③ 9 職種研究④ 10 面接効果測定準備 11 上級面接効果測定 12 模擬面接準備 13 模擬面接① 14 模擬面接② 15 模擬面接③
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	公務員キャリアデザイン I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択 I	
授業方法	演習	
授業時間	90時間	
授業コマ数	45コマ(1コマ120分)	
授業概要	就職活動に必要な所作を学び、試験8職種に向けた面接指導を行う	
授業の進め方	講義で基本的スキルを学び、座学終了後は実践を取り入れて進行する	
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1 面接の基本 2 自己分析 3 エントリーシート① 4 エントリーシート② 5 エントリーシート③ 6 効果測定①(入退室・自己分析) 7 面接質問項目 8 志望動機 9 面接カードの作成① 10 面接カードの作成② 11 効果測定②(全般) 12 集団討論対策① 13 集団討論対策② 14 受験職種研究(職種①) 15 模擬面接(職種①1回目) 16 模擬面接(職種①2回目) 17 模擬面接(職種①3回目) 18 受験職種研究(職種②) 19 模擬面接(職種②1回目) 20 模擬面接(職種②2回目) 21 模擬面接(職種②3回目) 22 受験職種研究(職種③) 23 模擬面接(職種③1回目) 24 模擬面接(職種③2回目) 25 模擬面接(職種③3回目) 26 受験職種研究(職種④) 27 模擬面接(職種④1回目) 28 模擬面接(職種④2回目) 29 模擬面接(職種④3回目) 30 受験職種研究(職種⑤)	31 模擬面接(職種⑤1回目) 32 模擬面接(職種⑤2回目) 33 模擬面接(職種⑤3回目) 34 受験職種研究(職種⑥) 35 模擬面接(職種⑥1回目) 36 模擬面接(職種⑥2回目) 37 模擬面接(職種⑥3回目) 38 受験職種研究(職種⑦) 39 模擬面接(職種⑦1回目) 40 模擬面接(職種⑦2回目) 41 模擬面接(職種⑦3回目) 42 受験職種研究(職種⑧) 43 模擬面接(職種⑧1回目) 44 模擬面接(職種⑧2回目) 45 模擬面接(職種⑧3回目)
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考	授業順序は前後することがある	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	公務員キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ公務員コース	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	演習	
授業時間	120時間	
授業コマ数	60コマ(1コマ120分)	
授業概要	秋試験10職種に向けた面接指導を行う	
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で個人面接を実施・見学、修正を行い反復する	
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1 受験職種研究1 (職種①) 2 受験職種研究2 (職種①) 3 受験職種研究3 (職種①) 4 模擬個人面接1 (職種①) 5 模擬個人面接2 (職種①) 6 模擬個人面接3 (職種①) 7 受験職種研究4 (職種②) 8 受験職種研究5 (職種②) 9 受験職種研究6 (職種②) 10 模擬個人面接4 (職種②) 11 模擬個人面接5 (職種②) 12 模擬個人面接6 (職種②) 13 受験職種研究7 (職種③) 14 受験職種研究8 (職種③) 15 受験職種研究9 (職種③) 16 模擬個人面接7 (職種③) 17 模擬個人面接8 (職種③) 18 模擬個人面接9 (職種③) 19 受験職種研究10 (職種④) 20 受験職種研究11 (職種④) 21 受験職種研究12 (職種④) 22 模擬個人面接10 (職種④) 23 模擬個人面接11 (職種④) 24 模擬個人面接12 (職種④) 25 受験職種研究13 (職種⑤) 26 受験職種研究14 (職種⑤) 27 受験職種研究15 (職種⑤) 28 模擬個人面接13 (職種⑤) 29 模擬個人面接14 (職種⑤) 30 模擬個人面接15 (職種⑤)	31 受験職種研究16 (職種⑥) 32 受験職種研究17 (職種⑥) 33 受験職種研究18 (職種⑤) 34 模擬個人面接16 (職種⑤) 35 模擬個人面接17 (職種⑤) 36 模擬個人面接18 (職種⑤) 37 受験職種研究19 (職種⑦) 38 受験職種研究20 (職種⑦) 39 受験職種研究21 (職種⑦) 40 模擬個人面接19 (職種⑦) 41 模擬個人面接20 (職種⑦) 42 模擬個人面接21 (職種⑦) 43 受験職種研究22 (職種⑧) 44 受験職種研究23 (職種⑧) 45 受験職種研究24 (職種⑧) 46 模擬個人面接22 (職種⑧) 47 模擬個人面接23 (職種⑧) 48 模擬個人面接24 (職種⑧) 49 受験職種研究25 (職種⑨) 50 受験職種研究26 (職種⑨) 51 受験職種研究27 (職種⑨) 52 模擬個人面接25 (職種⑨) 53 模擬個人面接26 (職種⑨) 54 模擬個人面接27 (職種⑨) 55 受験職種研究28 (職種⑩) 56 受験職種研究29 (職種⑩) 57 受験職種研究30 (職種⑩) 58 模擬個人面接28 (職種⑩) 59 模擬個人面接29 (職種⑩) 60 模擬個人面接30 (職種⑩)
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公務員適性検査演習 I
実務家教員	
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択 I
授業方法	演習
授業時間	60時間
授業コマ数	30コマ(1コマ120分)
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習を繰り返し行う
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 適性試験パターン1の解答方法 2 適性試験パターン1の練習 3 適性試験パターン2の解答方法 4 適性試験パターン2の練習 5 適性試験パターン3の解答方法 6 適性試験パターン3の練習 7 適性試験練習1 8 適性試験練習2 9 適性試験練習3 10 適性試験練習4 11 適性試験練習5 12 適性試験練習6 13 適性試験練習7 14 適性試験練習8 15 適性試験練習9 16 適性試験練習10 17 適性試験練習11 18 適性試験練習12 19 適性試験練習13 20 適性試験練習14 21 模擬試験(適性試験)1 22 模擬試験(適性試験)2 23 模擬試験(適性試験)3 24 模擬試験(適性試験)4 25 模擬試験(適性試験)5 26 模擬試験(適性試験)6 27 模擬試験(適性試験)7 28 模擬試験(適性試験)8 29 模擬試験(適性試験)9 30 模擬試験(適性試験)10
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における得点で評価
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング実習	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択 I	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)	
授業概要	トレーニング関連の講義から得た知識を活かした実習を行う	
授業の進め方	精通者による講義を受け、その後持久系トレーニング・筋力トレーニング・ストレッチ運動・集団演技などの実習を行う	
達成目標	トレーニングを通して、公安職に最低限必要な体力を養う。	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	精通者における講義
	2	筋力トレーニング・ストレッチ運動
	3	持久系トレーニング①
	4	筋力トレーニング①
	5	持久系トレーニング②
	6	持久系トレーニング③
	7	筋力トレーニング②
	8	持久系トレーニング④
	9	持久系トレーニング⑤
	10	筋力トレーニング③
	11	持久系トレーニング⑥
	12	持久系トレーニング⑦
	13	筋力トレーニング④
	14	持久系トレーニング⑧
	15	体力測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅱ	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	15時間	
授業コマ数	8コマ（1コマ120分、最終コマのみ60分です）	
授業概要	各省庁から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う	
授業の進め方	実務経験者による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記	実務経験者による講義を基にした演習	
授業計画	1	実務経験者における講義1
	2	実務経験者における講義2
	3	実務経験者における講義3
	4	実務経験者における講義4
	5	レポート作成1
	6	レポート作成2
	7	レポート作成3
	8	レポート作成4
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考	海保、自衛隊、警察	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅲ	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	15時間	
授業コマ数	8コマ（1コマ120分、最終コマのみ60分です）	
授業概要	官公庁に出向き、講師から得た知識を基に職種研究を行う	
授業の進め方	実務経験者による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	職種研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記	実務経験者による講義を基にした演習（福井県庁、福井税務署など）	
授業計画	1	実務経験者における講義1
	2	実務経験者における講義2
	3	実務経験者における講義3
	4	実務経験者における講義4
	5	レポート作成1
	6	レポート作成2
	7	レポート作成3
	8	レポート作成4
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	職業実務IV	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択 I	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	15時間	
授業コマ数	8コマ（1コマ120分、最終コマのみ60分です）	
授業概要	官公庁から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う	
授業の進め方	官公庁からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記	福井市職員による講義を基にした演習	
授業計画	1	実務経験者における講義①
	2	実務経験者における講義② 個人研究
	3	グループワーク①
	4	グループワーク②
	5	グループワーク③
	6	グループワーク④
	7	実務経験者における講義③（プレゼンテーション・総評）
	8	振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考	特記に記載した官公庁は年度により変更する場合がある	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅴ	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	前期	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	演習	
授業時間	15時間	
授業コマ数	8コマ(1コマ120分、最終コマのみ60分です)	
授業概要	消防署から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に消防官職種研究を行う	
授業の進め方	実務経験者による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	職種研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記	実務経験者による講義を基にした演習	
授業計画	1	実務経験者における講義1
	2	実務経験者における講義2
	3	実務経験者における講義3
	4	実務経験者における講義4
	5	レポート作成1
	6	レポート作成2
	7	レポート作成3
	8	レポート作成4
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公官庁講話
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択 I
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	20時間
授業コマ数	10コマ（1コマ120分）
授業概要	現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き職種への理解を深める
授業の進め方	現役公務員の話聞き、質疑応答や必要に応じレポートの記入をする
達成目標	希望職種のみならず幅広い職種を理解する
教科書	なし
特記	実務経験者による講義
授業計画	1 職種別ガイダンス1 2 職種別ガイダンス2 3 職種別ガイダンス3 4 職種別ガイダンス4 5 職種別ガイダンス5 6 職種別ガイダンス6 7 職種別ガイダンス7 8 職種別ガイダンス8 9 職種別ガイダンス9 10 職種別ガイダンス10
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	公務員倫理
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	前期
科目区分	選択 I
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	15時間
授業コマ数	8コマ（1コマ120分、最終コマのみ60分です）
授業概要	公務人材開発協会より講師をお招きし、公務員に関する法令や服務規程を学ぶ
授業の進め方	実務経験者による講義をもとに、各自研究課題を作成する
達成目標	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける
教科書	なし
特記	実務経験者による講義を基にした演習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 公務員制度 2 公務員服務規程 3 業務上のマナー 4 公務員関連の法令研究 1 5 公務員関連の法令研究 2 6 公務員服務規程の研究 1 7 公務員服務規程の研究 2 8 レポート作成
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	公共ボランティア実習 I	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択 I	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)	
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める	
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する	
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	ボランティアの基礎知識
	2	自治体とボランティア
	3	ボランティア実体験①
	4	ボランティア実体験②
	5	ボランティア実体験③
	6	ボランティア実体験④
	7	ボランティア実体験⑤
	8	ボランティア実体験⑥
	9	ボランティア実体験⑦
	10	ボランティア実体験⑧
	11	ボランティア実体験⑨
	12	ボランティア実体験⑩
	13	ボランティア実体験⑪
	14	ボランティア実体験⑫
	15	ボランティアレポート
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	公共ボランティア実習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	通年	
科目区分	選択Ⅰ	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ(1コマ120分)	
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める	
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する	
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	ボランティアの基礎知識
	2	自治体とボランティア
	3	ボランティア実体験①
	4	ボランティア実体験②
	5	ボランティア実体験③
	6	ボランティア実体験④
	7	ボランティア実体験⑤
	8	ボランティア実体験⑥
	9	ボランティア実体験⑦
	10	ボランティア実体験⑧
	11	ボランティア実体験⑨
	12	ボランティア実体験⑩
	13	ボランティア実体験⑪
	14	ボランティア実体験⑫
	15	ボランティアレポート
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容
授業科目	法律研究
実務家教員	○
学部・学科	スポーツ産業科
履修年次	2年次
開講学期	後期
科目区分	選択 I
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）
授業時間	30時間
授業コマ数	15コマ（1コマ120分）
授業概要	民法に関する講義を受け、研究および発表を通じて法律の考え方を学ぶ
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う
達成目標	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする
教科書	なし
特記	法律関係実務家による講義を基にした実習
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1 法律概論（講義） 2 民法の考え方（講義） 3 課題①の研究 1 4 課題①の研究 2 5 課題②の研究 1 6 課題②の研究 2 7 課題③の研究 1 8 課題③の研究 2 9 研究発表シナリオ作成 1 10 研究発表シナリオ作成 2 11 研究発表準備 1 12 研究発表準備 2 13 模擬プレゼンテーション 14 研究発表プレゼンテーション 15 研究発表プレゼンテーション
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評
備考	

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	行政研究	
実務家教員	○	
学部・学科	スポーツ産業科	
履修年次	2年次	
開講学期	後期	
科目区分	選択 I	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	30時間	
授業コマ数	15コマ（1コマ120分）	
授業概要	災害対策に関する講義を受け、研究および発表を通じて防災への理解を深める	
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う	
達成目標	災害に関する基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする	
教科書	なし	
特記	防衛省職員による講義を基にした実習	
授業計画	1	災害対策の枠組み（講義）
	2	災害対策の実例（講義）
	3	課題研究 1
	4	課題研究 2
	5	課題研究 3
	6	課題研究 4
	7	課題研究 5
	8	課題研究 6
	9	研究発表シナリオ作成 1
	10	研究発表シナリオ作成 2
	11	研究発表準備 1
	12	研究発表準備 2
	13	模擬プレゼンテーション
	14	研究発表プレゼンテーション
	15	研究発表プレゼンテーション
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100% 研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評	
備考		